關大

発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話大阪（388）1121代表
振替口座大阪55594番

次期学長候補を選出

明石、広瀬、藤本三氏

除斥投票は25日に締切

次期学長選挙の実施については、その選出方法「学長選挙実施要綱」につき、学生の賛否を求めるアンケートが行われていたが、七月十六日締切の結果、賛成多数となり、これをもとに「学長選挙に関する暫定規程」が立案、制定された。この暫定規程に基づいて、学長選挙管理委員会が発足し、選挙の具体的行事が進められ、八月一日、学長候補者選考委員会が開かれ、明石三郎法学部教授、広瀬捨三文学部教授、藤本是文学部教授の三氏が学長候補者に選ばれた。三名の学長候補者に対する学生の除斥投票は八月二十五日まで行われ、その結果二名以上の失格者がなかった場合、九月九日の学長選挙会で次期学長が決まる予定である。

次期学長選挙の実施については前号既報のとおり、前回の暫定規程を拠りどころとし、これをほぼ踏襲した暫定規程により行われることとなり、その選出方法の骨子「学長選挙実施要綱」につき、全学生の賛否を求めるアンケートが行われていたが、七月十六日締切られた。

アンケートの集計結果は次のとおり。

発送総数　二四、一三三
期限内返信数　五、二八三
返信率　二一・九％
賛成　四、二六四（八〇・七％）
反対　九九二（一八・八％）
無効　二七（〇・五％）
期限後返信数（無効）　五四

アンケートは「反対」の回答が全学生の過半数を大きく下まわりこの結果、「学長選挙実施要綱」（前号参照）は学生の賛同を得たことになり、これをもとに「学長選挙に関する暫定規程」が立案、制定された。

この暫定規程にもとづいて、七月二十六日、各学部長が学長選挙管理委員となり、学長選挙管理委員会を構成し、委員の互選により委員長に新保正樹工学部長が就任し、学長候補者選考委員の選出など選挙の具体的行事が進められる運びとなった。

続いて、八月一日、学長候補者選考委員会が開かれ、選考委員の二名連記無記名投票によって、明石三郎法学部教授、藤本是文学部教授、広瀬捨三文学部教授（五十音順）の三氏が次期学長候補者に選出された。（別掲）

八月九日、全学生に対し投票用紙などの発送が行われ、現在、学長候補者に対する学生の除斥投票が行われているが、投票は八月二十五日（当日消印有効）に締切られ、九月一日集計結果が発表される。

除斥投票の結果、二名以上の失格者（在籍学生の三分の一以上の除斥を受けた者）がなかった場合九月一日、学長候補者の最終的確定の公示、九月九日、学長選挙会が行われ次期学長が選出される予定である。

明石教授

広瀬教授

藤本教授

学長候補者三氏の経歴

明石　三郎（あかし　さぶろう）
大正四年一月一日生
〈学歴〉
昭16　東北帝国大学法文学部法科卒業
〈職歴〉
昭18　台北帝国大学講師
昭22　関西大学教授（専門部）
昭23　同助教授（法学部）
昭24　同教授（〃）
法学部長、大学院法科研究科長、学長事務代行などを歴任。
〈研究分野〉
民法学（債権法）　法学博士

広瀬　捨三（ひろせ　すてぞう）
明治四四年九月二九日生
〈学歴〉
昭11　関西大学法文学部英文学専攻科卒業
〈職歴〉
昭11〜14　同大学院在学
昭12　関西大学講師
昭15　同助教授（予科）
昭17　同教授（〃）
昭23　同教授（文学部）
文学部長、教養部長、大学院文学研究科長、図書館長、学長代行学長などを歴任。
〈研究分野〉
英文学（中世英文学）　関西大学文学博士

藤本　是（ふじもと　ただし）
大正九年二月一三日生
〈学歴〉
昭18　関西大学法文学部哲学専攻科卒業
〈職歴〉
昭23　関西大学講師
昭25　同助教授（文学部）
昭31　同教授（〃）
教養部長、文学部長代行、学長代行代理、文学部長など歴任
〈研究分野〉
哲学（近代および現代）

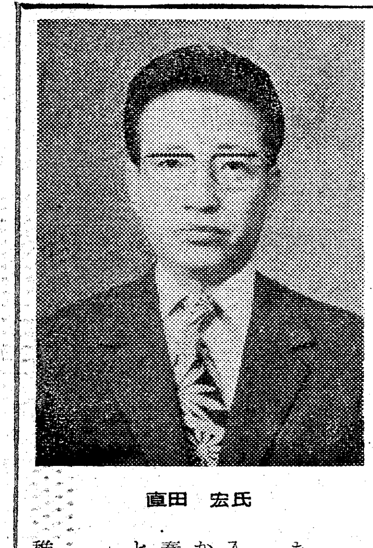
お時間拝借

校友あれこれ対談

—23—

熊本放送大阪支社長
直田　宏氏

聞き手
吉田　三七雄



直田　宏氏

丁稚哲学で頑張る

入社試験こぼればなし

吉田　先日開かれたマスコミ関大会の席上で、あなたの入社試験の面白い話に、みんな腹を抱えて笑っていましたが、その話をもういちど再放送していただきたいと思いまして。

直田　うわぁー、こらえらいことになりましたなぁ。（笑い）マスコミ関大会に初めて出席して、そこで自己紹介をやらされ、熊本放送に入社したときの話をしたんですが、それをもういっぺんやるんですか？（笑い）

吉田　是非やってもらわんと困るんです。実は、この新聞の締切りが迫っていて、編集者に尻をたたかれてるんです。（笑い）

直田　だからといって、わたしに恥をかかせるなんて、こりゃぁ殺生というもんです。（笑い）先輩の命令とあれば仕方ありません、がね。（笑い）

吉田　ありがとう！これでぼくも助かった！（笑い）

直田　わたくし、実は放送界に入ろうなんて、夢にも思っていなかったんです。中学を出たら丁稚奉公（でっちぼうこう）に出ようと思ってたもんですから。

吉田　でっち？

直田　そうです。丁稚小僧の丁稚です。わたしの父は歯医者で、親類にも医者がいるんですが、小さい頃から歯医者の生活を見ていて、反抗という意味でなく、もっと世の中のことを広く見なければいけない、そのためには丁稚奉公がいちばんいいと思いつめるようになったんです。中学へ入ってからも丁稚に行くんだから進学の勉強はいらんと考えて……、いや、勉強がキライで。（笑い）そのうちに丁稚でも高校だけは卒業しておいたほうがトクやと思うようになって、（笑い）中学の五年を卒業して関大一高の三年に編入したんです。ちょうど六・三制の切替えの時でしたから、こんなことが出来たんです。一高へ入ったトタン、また妙な欲が出て、大学を出てからでも丁稚に行けるだろうと、（笑い）関大の商学部へ入り、勉強もせず四年間過ごしてしまったんです。

吉田　さて、これからがいよいよ本番ですな。（笑い）

直田　関大を卒業して、あちらこちらに丁稚の奉公口を頼んでみたんですが、大学出の丁稚はいらんということで断わられ、（笑い）やっぱり中学を出て直ぐに丁稚に行けばよかったと後悔したんですが、もう遅すぎます。（笑い）ヤケクソな気持で、家でブラブラしていたときに、思わぬチャンスが飛びこんできたんです。

吉田　いよいよクライマックスだね。（笑い）

直田　いろいろ差しさわりがあるから、某新聞ということにしておきますが、その某新聞の販売のひとが、押し売りみたいに新聞を入れにきたんです。応待に出たわたしと、半分ケンカみたいになったんですが、とにかくひと月だけ入れさせてくれということで、とうとうわたしが負けました。（笑い）どうせひと月分だけは金をとられるのやから、読まんとソンやと思うて（笑い）、なんの気なしに紙面をめくっていると、新しく生まれる地方の民間放送局が、社員を募集しているという記事が目についたんです。丁稚はもうアカンから、（笑い）いっぺん受験してみようというわけで、職業安定所へ飛びこんで受験の手続きをしてもらいました。その民間放送というのが今の熊本放送で、面接試験は熊本日日新聞の大阪支社でありました。面接がすんで二、三日すると、学校の卒業証明書と成績表と戸籍謄本を送れという通知がきました。あわてて学校へ飛びこんで卒業証明書と成績表をもらい、戸籍謄本といっしょに送ったんですが、会社の所在地である西区土佐堀を、「西成区」と書いて送ってしまったんです。（笑い）

吉田　えらいミスや！（笑い）

直田　そうですがナ。（笑い）会社からなにもいってこないのでこちらから押しかけて尋ねてみたら、書類の提出期日がすんだから不採用になったとの返事です。（笑い）あきらめて家へ帰ったら郵便局から書類が差戻しになってきたところです。すぐにそれを持って再び会社に飛びこみ、「書類はこのとおり送ったんだが西区と西成区と間違えました。これはたしかにわたしが悪いのですが、それはそれとして、是非わたしを採用して下さい。わたしは会社のために必ず働きます。わたしを採用して、きっとよかったと思われるようにガン張ります」と、大演説をブッたんです。（笑い）それがよかったんでしょうねえ。それほどいうなら、仮採用ということで明日から出てこいということになったんです。（笑い）

吉田　エライ心臓やねえ。（笑い）

直田　それからは、もう無茶苦茶に働きましたねえ。朝はほかのひとより一時間早く出社、帰りも遅くまで残って、お茶汲みからふき掃除、机の上の整理整頓まで、ひとのいやがることはなんでもやりました。時には情けないような気持にもなりましたが、そのたびに、丁稚奉公はもっとつらいんだぞ！と自分自身にいい聞かせてきました。

吉田　ウーン、なるほど。

直田　熊本放送は、それからしばらくして、その年の十月一日に開局したんですが、その直前に支社長に呼びつけられ、よくガン張ってくれた、本採用に決定したとのことです。飛び上って喜びましたよ。ところが、そのあとの言葉がいけないんです。お前の関大の成績では、本来ならば不採用にするんだが、お前のヤル気十分なところを認めてもらったんだ、というわけです。そりゃあそうでしょう。「優」がたった一つで、あとはずうーっと「可」が並んでいましたからね。（笑）やっぱり、学校にいる間は学校の勉強をして、ある程度いい成績をとっておかんといけませんねえ。（笑い）

吉田　いやどうも。丁稚哲学とでもいいますか、いろいろ教えられるところがたくさんありました。これからも、ウンとガン張って下さい。

直田　宏（なおた　ひろし）
昭和34年一高卒、昭和28年一部商学部卒、熊本放送大阪支社長

支部組織の強化を

大阪近郊支部組織懇談会

校友会執行部では、七月二十八日午後一時半から、大阪近郊の支部に呼びかけ代表者との懇談会を開いた。

これは校友会本年度組織推進計画に伴って実施されたもので、当日は、十五支部二十二名、本部側を含め約四十名が、二時間余にわたり、支部運営の実情をはじめ、今後の組織計画など熱心に懇談し本部との相互連携のもとに組織化を推進することを約し、有意義に会を閉じた。

当日は本部側から正副会長、五部長、組織部役員が、支部側から大阪近郊から支部長、副支部長級の代表幹事が参席、組織部の担当で懇談に入った。

先ず桱本会長が挨拶の中で「昭和三十年母校創立七十周年を境に整備された校友会組織は、四十年の八十周年時に一段と飛躍した。現在では毎年五千余名が卒業し、一方地域によっては数千名、少ないところで数百名の会員を擁する現状にある。校友会が拡充強化するためには各支部その他の会を盛んにする以外にないので、本部と相提携して、二年後の創立九十周年を迎えるに当って、組織の拡充強化につとめたい」と趣旨を説明した。

懇談会は寺西組織部長を座長に進行し、執行部側が支部の実情報告を受けながら、本部に対する希望、所見などを述べてもらう形で進められた。

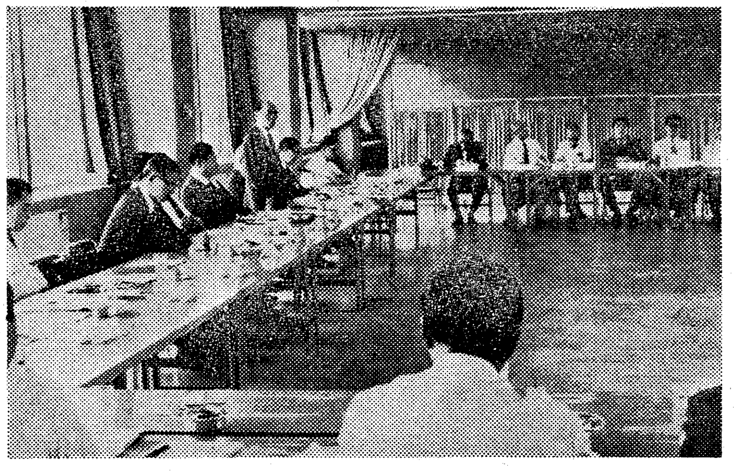
各支部の実情を要約すると、人口の都市集中化に伴う会員のマンモス化による会員掌握ならびに運営の困難性、会員の頻々とした異動、行政区の分区問題などをはじめ、資金上の問題まで、各支部が持ち続けている運営上の悩みが切々と訴えられ、また本部に対しても名簿調製、資金調達、会場設営などに関する協力要請があった。

以上の懇談を通じ、出席の各代表者から、本部との提携の下に、昭和五十年の創立九十周年を目途に、組織固めすることを約し、組織活動の前進を誓い合った。

当日の出席者は次の通り

【本部側】桱本会長、前川、坂本副会長、芦田広報部長、荒井財務部長、寺西組織部長、北野、篠原組織副部長、小崎、岡部、木藤、中本組織部役員、神屋敷事務局長、藤本事務局次長

【支部側】（大淀）西口副支部長（北）伊東支部長代理（此花）北村支部長（城東）坪井支部長（大正）横山支部長、谷口幹事長（東住吉）松井支部長、日野上代表幹事（茨木）上田副支部長、大槻代表幹事（大東）西村支部長（高槻）延与支部長代理（豊中）榎原副支部長（芦屋）田辺支部長、松田副支部長、山村理事（西宮）保井支部長（和歌山）村田幹事、新谷幹事（三重）三宅支部長（南勢）時田副支部長



活発な意見の交換がなされた大阪近郊支部組織懇談会

講師に網干、広田両教授

名古屋と松山で文化講演会

関西大学主催の関西大学文化講演会は、七月中旬、名古屋と松山で開かれ、文学部網干善教、社会学部広田君美の二教授が講演し、それぞれ二、三百名の市民が聴講した。

今回の文化講演会は、一昨年十一月、開かれた大学（大学の研究成果の市民への還元）、地方社会との連帯を目的に名古屋で開き、好評を博した公害問題学術講演会と同じ趣旨で開いたもので、名古屋は中部日本放送後援で、七月十四日午後五時からCBCホール、松山は愛媛新聞社の後援で七月二十一日午後一時から県医師会館でそれぞれ開催した。

まず、網干教授は「日本の古墳文化ー壁画古墳高松塚を中心として」と題して、百枚を越えるスライドを使用しながら、古墳時代と高松塚の関係、終末期古墳とは、高松塚の壁画と副葬品、東アジア（中国、朝鮮）のなかにおける高松塚など最近の高松塚古墳に対する研究成果を報告した。

続いて、広田教授は「人生と生きがい」と題して、人生とは無期囚か死刑囚か、生きがいとは、人生とは自己実現のプロセスである、生きがいある人生とは などを、身近な例をひきながら講演、若者から老人までの聴衆に深い感銘を与えた。

なお、高松では、校友会香川県支部などの強い要請で、八月二十五日、網干善教、横田健一両文学部教授を講師に同様の文化講演会が開かれる予定。

大学院など四学舎

改築の合同地鎮祭挙行

久しく建築の槌音を聞かなかった学園で、今年は、大学院学舎改築工事、工学部実験実習場新築工事など四つの大きな建設が行われることになり、八月九日午前十時から大学院学舎建設予定地（旧大学院学舎跡）で、学校関係者、建設会社関係者などが出席して合同地鎮祭が行われた。

各建設工事概要は次のとおり。

一、大学院学舎改築工事（大学院教室、研究室及び東西学術研究所並びに考古学資料室を含む）
▽建築場所　現大学院学舎及び階段教室解体跡地
▽構造　鉄筋コンクリート造四階建一部地階
▽面積　延床面積　二、六四〇平方㍍
▽内容　地階ー印刷室、倉庫など　一、二、三階ー大学院学舎、三階ー東西学術研究所、四階ー考古学資料室
▽工事費　三億七千三百五十万円

二、法学部、文学部研究室棟（新館）増築工事
(1)▽建築場所　法文（新）研究室棟北側
▽構造　鉄筋コンクリート造地上五階
▽面積　五一五平方㍍
▽内容　個人研究室各階四×5＝二十室
▽工事費　五千九百五十万円
(2)▽建築場所　体育館東側誠之館五号館西側
▽構造　鉄筋コンクリート造三階建
△面積　三七三・八平方㍍
▽内容　一階ーピロティー、二、三階ー個人研究室五×2＝十室
▽工事費　四千五十八万円
(1)(2)合計　一億八万円

三、経済学部、商学部、社会学部研究室棟増築工事（経済、政治研究所を含む）
▽建築場所　経商研究室棟と社研究室棟の間
▽構造　鉄筋コンクリート造六階建
▽面積　一、一五〇・五六平方㍍
▽内容　一・二階ー経済、政治研究所、三〜六階ー個人研究室四×4＝十六室、合同研究室一×4＝四室
▽工事費　一億三千五百五万六千円

四、工学部実験実習場新築工事
▽建築場所　電気工学第二実験場解体跡地
▽面積　建築面積三八五、三六平方㍍、延面積一、一五二、七二平方㍍
▽内容　高電圧実験室など各種実験室八室、測定室、計器室など八室
▽工事費　一億二千八百三十万円

その他、新増築建物の電話中継装置の増設が一千万円で行われ、総合計は、七億四千六百九十三万六千円にのぼる大建設工事である。各工事とも同時に着工され、完成は四十九年三月の予定。

＜新卒のみなさん＞

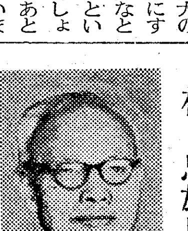
本年三月卒業生の校友名簿ができました。御希望のむきは至急ご送金願います。

学部・学科別、勤務先、現住所ならびに電話番号収載　B5版6ポ二段横組、九〇頁

頒価　六〇〇円（〒共）

なお、四十七年までの全卒業生を収録した**47年版校友名簿**（頒価二、八〇〇円、郵送料四〇〇円）も多少余部があります。御希望の向きは併せてお申し込み下さい。

564　吹田市山手町三ー三ー三五
関西大学校友会
振替口座大阪三三三九四番



桂　忠雄氏

元関西大学経理局長桂忠雄氏（大6専法）は吹田市民病院で七月二十五日午前三時三十分逝去された。八十一才。

氏は大正二年関西大学雇員、同六年書記、昭和四年会計課主任、同二十二年から三十六年まで経理局長をつとめ、昭和四十二年退職するまで五十四年の永きにわたり専ら経理業務を担当し精励恪勤の人柄は敬仰されるところであった。

葬儀は七月二十七日午前十一時から吹田市朝日町一三の二〇の自宅で執り行われ大学関係者多数が参列した。遺族は未亡人よ志江殿

山本順応氏

元関西大学教育後援会幹事長山本順応氏（大正十二年専法卒）は病気療養中のところ七月二十四日午後三時四十分脳軟化症のため吹田市泉町五の二四の二八の自宅で逝去された。七五歳。

氏は大正九年関西大学雇員、同十二年書記、昭和十三年学部学生課主任等をつとめ、昭和二十九年から四十二年五月まで専ら教育後援会幹事長として同会今日の発展の基礎を築いた。

七月二十五日午後四時から自宅で行われた葬儀には大学並に教育後援会から多数参列弔意を表した。

高尾忠男教授

高尾忠男商学部教授（昭15専二法）は八月九日午後零時半、心筋梗塞のため泉大津市松之浜町一ー一四ー二〇五の自宅で急逝。五十六才。専攻は会計学、関西大学図書館長、校友会常議員。

行事と集い

- **友粋会創立35周年記念総会**　8月19日（日）午後2時、大阪・天王殿
- **大分支部総会**　8月19日（日）正午、大分西鉄グランドホテル
- **関西大学地方講演会（高松）**　8月25日（土）午後1時、高松市四国新聞社大ホール、網干善教文学部教授「日本の古墳文化」、横田健一文学部教授「弘法大師の歴史的背景」
- **香川支部総会**　8月25日（土）午後6時、高松市中野町、魚よこ会館
- **年輪会総会**　8月25日（土）午後3時　箕面・箕面観光ホテル
- **校友会常議員会**　8月29日（水）午後5時半　北浜・大阪証券会館7階
- **オール短大総会**　8月30日（木）午後6時　北区・大阪郵政会館
- **宝塚支部総会**　9月7日（金）午後6時
- **西宮支部役員会**　9月7日（金）午後6時
- **全国地域支部代表者会議**　9月8日（土）午後1時半　北浜・大阪証券会館9階ホール
- **大阪東支部総会**　9月25日（火）午後5時半　船場・東海倶楽部

葦の雫

敗戦の日が、また近づいてきた。この戦争では私は関大生、学徒兵として、陸軍特別操縦見習士官として戦ったといえば格好がいいが、中味はインドネシアのジャワ島スラカルタ練習飛行隊で訓練に明け暮れていた▼九七式直協機の操縦管を右に傾けた瞬間、スコール（南方の雷雨）のなかに突入した。木の葉のように舞う機体。前後左右、真っ白の壁のなかで位置感覚はとれず高度計が、あっという間にさがったりする。滑走路を求めて混乱、あきらめ、奮起の長い長い三十分間を血みどろで経験した▼その夜、夢をみた。幼時のころの神戸新開地の店先。豊中の自宅。それも玄関から室内の床柱、庭先の松、桜から鉢植えの菊まで…。それが関大予科の緑の芝生に重なったと思うと、大学への〝地獄坂〟を真夏にあえぎながら登っていくところで目がさめた。汗びっしょりである。機体故障でパラシュート降下した戦友も、それが開く一、二秒の間に、子供のときから学徒出陣までの走馬灯がかけめぐったと述懐していた▼コラムとしては、いささか場違いの経験談をはじめたのには理由がある。校友名簿を開いたとき、昭和十七年九月卒、第二予科二百六名中、物故者十七名、連絡不能者七十五名が目についた。ちょうど五十歳の われわれ、半数は亡き人か。それも多くは若冠で散る。千里山の学びの庭を脳裏に刻み込みながらと思うからである▼人生を生き抜くための心の友は、子供のころの竹馬の友という説がある。中学時代と強調する人もあり、高校、いや大学こそ知情意一致の親友がという。一致しているのは、社会に出てからのは離合集散のつかの間の利友であることだろう。はたして、現代の若人は、いずこで友をえるのだろうか。▼あの日以来三十年、一言も語りえない友が、私の心の友だ。つねに声なき声で激励してくれる。それだけに胸がうずく。その意味からも、新しく生きる関大生の姿が表徴できる新〝逍遥歌〟が生まれ、全校友あげての鎮魂の大合唱を祈念してやまない。

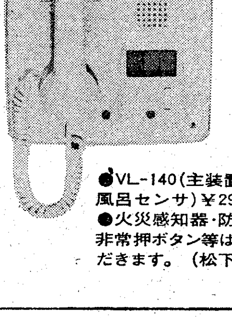
（心斎橋店・京橋店）
コンタクトレンズ
登録　商標
メガネ
大学堂
心斎橋店（271）7891
京橋店（353）2419
虹のまち店（213）1650
阪神百貨店（345）1201

最高のおくりもの
カタノ紳士服
カタノヨイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ
カタノ洋服店
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
電話大阪（231）〇五六五〜七
大阪駅前店　第一生命ビル　専門大店
電話　大阪（341）〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン　テーラーカタノ

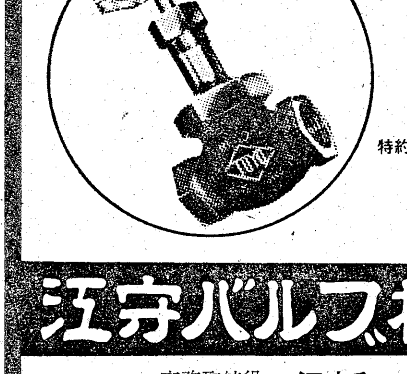
プレゼントのお考えはきまりましたか
GIFT　ビジネスバッグ・旅行カバン
贈答好適
サイフ・ハンドバック・カバン専門卸
ーーご一報者にカタログ急送ーー
K.K廣島屋本店
取締役社長　蔵田廣造
（昭和25年　経済学部卒）
〒541　大阪市東区博労町1ー26
TEL 06ー261ー2431

運転免許は
校友がお世話する
〝大阪城東の〟
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市城東区別所町157
〒536　TEL（06）912ー7171
担当　太田清太郎（昭29.学2法）
優待証　関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

冷暖房換気設備工事
給排水衛生設備工事
設計並びに施工
株式会社
大阪城口研究所
取締役社長　城口庸平
本社　大阪市北区高垣町一番地
電話　大阪　三七二局七一五一番（代表）
京都出張所　京都市東山区大和大路正面上ル
電話　京都　五六一局四九四四番（代表）
神戸出張所　神戸市生田区下山手通六丁目一番地
電話　神戸　三四一局　五八九二番



電子技術で未来をひらく　松下通信工業
安全で快適な生活をになう——！
ナショナル住宅総合インターホン
1台5役の働きもの
ナショナル住宅総合インターホンは、訪問者と通話ができる玄関電話、風呂の水位や温度・漏水を感知する風呂センサ、屋外への非常警報、異常高温や火災を感知する定温式スポット型感知器、窓やドアからの不法侵入者をとらえる防犯・キースイッチなど、近代生活には欠かせない機能を備えています。
●VL-140（主装置・ドアホン子機・風呂センサ）¥29,800
●火災感知器・防犯/キースイッチ・非常押ボタン等は別途ご用意いただきます。（松下電工製）
●お問い合わせは………
ナショナルインターホン販売（株）
大阪市北区神明町8　〒530　電話（06）364ー9141
神戸営業所　神戸市葺合区御幸通2-6　〒651　電話（078）231-6141
松下通信



配管材料　総合問屋
TRADE MARK EVEREST
指定問屋　東洋バルヴ株式会社
指定代理店　株式会社北沢バルブ
代理店　株式会社北斗バルブ製作所
株式会社イズミ製作所
株式会社吉田バルブ製作所
中嶋バルブ工業株式会社
株式会社田渕製作所
佐野鉄工株式会社
アロン化成株式会社
特約販売店　住友金属工業株式会社
日立金属株式会社
アメリカコーラー社
江守バルブ株式会社
専務取締役　江守和一（昭和41学1法）
本社・大阪市西区立売堀北通4丁目51番地
〒550　☎大阪（06）（532）6321代表
出張所・新居浜・鹿島・大分・高岡・福岡・鹿児島

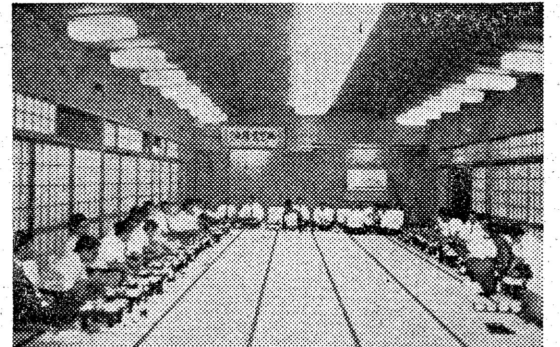
北から・南から
各地支部だより

40年ぶりの出席者も
学長、校友会長迎え
愛媛・東予支部懇親会

松山市の県医師会館で、網干・広田両教授の本学文化講演会のあった七月二十一日午後六時から、料亭"浜作"で愛媛支部、東予支部合同の懇親会を開いた。たまたま翌二十二日は母校教育後援会の愛媛県父兄懇談会が、県農協会館で開催されるので、広瀬学長はじめ多数の教職員、教育後援会役員が来県されたので来賓として迎え両支部から三十余名出席した。

大西支部長から開会のあいさつ広瀬学長から学内の状況、樫本校友会長から校友会の近況報告、大学、校友会、教育後援会からの出席者紹介について、会員の自己紹介があって開宴、卒業して四十年ぶりにはじめて出席した会員もあり、新旧同窓席を回って交杯交歓し、学園での憶い出を語り、最後に逍遥歌、学歌を斉唱し、母校の万歳を三唱して八時半散会した。

（出席者）広瀬学長、内田出版広報部長（大学）樫本会長、神屋敷事務局長、小崎常議員（以上校友会）佐藤監事　宮本常任委員、森本幹事長、有光支部長、松本役員（以上教育後援会）支部長大西忠、宮内大三郎、門屋豎一、東方博、合田年春、阿部藤吾、住田克史、山川潔、河口雄三、大西文雄久保顕二、橋口満則、藤川敬字、山田勝、鈴木博義、記内武則、西川晏弘、薬師寺久、上野志郎、古川至徳、伊賀上状一、後藤基文（以上愛媛支部）副支部長安藤美佐雄、河上司、山本勝明、藤原紀智郎、白石豪、天野靖仁、宮崎健治、能智孝昭（以上東予支部）


学長、校友会長迎え、愛媛・東予支部懇親会

広瀬学長を迎える
徳島支部総会に五十余名

徳島県下には約六百名の校友があり、母校在学生は二六九名となっている。

教育後援会の徳島県父兄懇談会が七月二十四日、県郷土文化会館で開かれ、広瀬学長ほか諸先生が来県せられるので、校友並に帰省学生に呼びかけて、二十三日(土)午後六時から徳島駅前阿波観光ホテルで支部総会を開いた。

会場は屋上ビヤホールを借り切って設営され、母校の学生歌や応援歌が流れ、学園のふん囲気がかもし出され、広瀬学長、来住商学部長、木村経済学部助教授、校友会大島副会長ほか来賓を迎え、幹事長三橋英夫氏の司会で、学歌を斉唱して開会した。

支部長小寺嘗二郎氏から総会開催にいたった事情報告あり、広瀬学長から学内情況、大島副会長から校友会の近況について報告があった。

副支部長中田潔氏の音頭で乾杯して開宴、ビールで満をひいて夏の夜を歌と歓声で過ごし、肩を組んで逍遥歌を合唱し、母校と校友会の万歳を三唱して午後八時すぎ閉会した。

（出席者）小寺嘗二郎　中田潔　林貞雄　三橋英夫　三宅二郎　真淵孫二　有本直弘　奥本正己　堀江正一　為実啓剛　長谷部一美　日下守　大久保勇　宮崎昌泰　大杉啓介　小賀野利一　内村達之介　森島博　井村良明　坪内律雄　森田荘一　矢部一之　橋本重九郎　新居修　大塚右左男　後藤田純二　千草信男　久米欣之介　富浦義之　渡辺寛三　赤星明　山上弘　朝日和　赤松誠三　能田忠幸　井貝充　真淵紘　杉浦徹　村山秀樹　中田光治　嘉田文彦　尾山勝徹　加村賢治　真鍋佳賓　沢口通宏　田中義幸

（招待者）学校側＝広瀬学長、来住商学部長、木村助教授、内田出版広報部長

校友会＝大島副会長、中本組織部役員、神屋敷事務局長

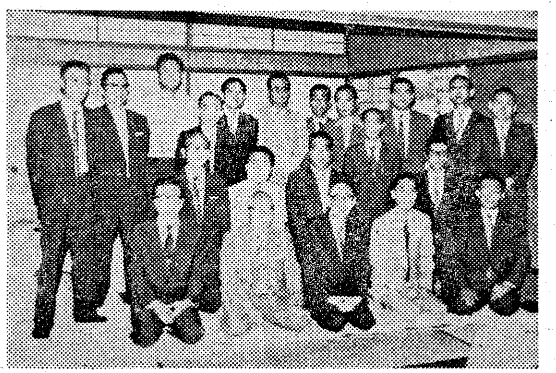
50余名が参加して盛大に開かれた徳島支部総会

学長を囲んで懇談会
福井支部

校友会福井支部（山口俊男支部長）では七月七日、教育後援会地方父兄懇談会を機に福井入りした広瀬学長を囲んで、午後六時から駅ビルホテルで支部の有志懇談会を開いた。

広瀬学長は、旅装を解かれる暇もなく懇談会に出席、学園紛争後の学生運動を中心とした母校の近況を語られ、在学当時と隔世の感がある母校に、校友一同感慨を新たにした。

次いで当夜、本部より出席の北野組織副部長、藤本事務局次長から、本年度の組織推進計画に伴う福井支部総会の開催について要請、県下一円に約二五〇名という校友を如何にしたら盛大な総会に持ち込むことができるか、時期、規模等について具体的に検討、情勢判断することにした。


28年ぶりに初会合した関甲31期会

吉川支部長重任
西成支部総会

校友会西成支部（吉川喜三支部長）の昭和四十八年度総会は、去る七月二十日午後六時から、南区のニュージャパンに約三十五名が参加して開催した。

今回は趣向を変え総会までのひとときをニュージャパンのサウナに入り、思い思いに歓談のあと、みんな揃った段階で別席"敦煌"を会場に総会を開会、会務報告・役員改選などをはかった。

その結果、役員の改選では吉川支部長以下全員重任ということに満場一致決定した。

このあと和田栄太郎先輩の音頭で乾杯、懇親会にうつった。宴酣のころ、今次の異動で西成区長に就任の校友田仲義一氏（昭15専二法）が参席、同氏を囲んで一段と興も増し盛会となった。

なお当日は校友会から大島副会長が出席本部の近況を報告し支部会員との交流をはかった。

卒業後28年
初の同期会
関甲31期生

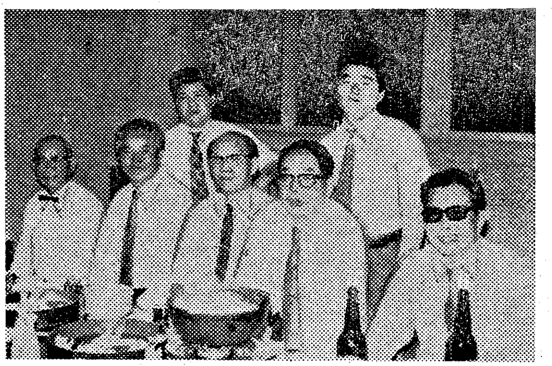
在学中は勤労動員に明け暮れて終戦の年昭和二十年三月関西甲種商業を卒業した31期生は、卒業して二十八年、初の同期会を七月七日午後六時から東区北久宝寺町二、集英楼で、恩師和田豊二校長、担任三島律夫先生、市田弥一郎先生を迎えて開催した。

卒業した時は二五八名であったのが、現在名簿の上で住所判明一〇九、連絡不能一三八、死亡一一となっていることは世話人篠原昭三氏からの報告で、今まで二十八年間一回も会合しなかったが、七夕の今日集まったことは、これからはせめて年一回は逢瀬を楽しみたいとあいさつがあった。

はじめに自己紹介、二十八年の歳月はわずかに少年の面影を止めるぐらい堂々たる変貌ぶり、恩師にはずいぶん手こずらせた連中もかなりあったらしい。

乾杯ののち、当時の校長和田先生、また担任の三島先生から、勤労動員やひとりひとりの思い出をなつかしく回想して語られ、市田先生は新任早々のことであったので上級生と年の開きも少なくてとくに親しまれたとのことである。

同期の孫完鎬君には先年校友会で訪韓のおり、訪日を熱望されているので招待したいと篠原昭三君からの提案に、全員賛意を表し、この件は篠原君ほか世話人に一任した。


樫本校友会長を囲んで寝屋川支部の準備会

設立準備すすむ
寝屋川支部

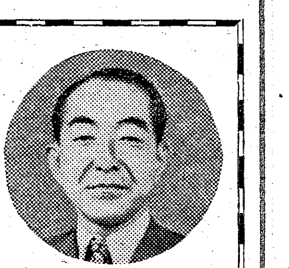
これまで地域支部として北河内支部があったが、枚方、寝屋川、門真など市制がしかれ、校友会校方支部も独立し、会員もいちじるしく増えた現状にかんがみ、寝屋川支部が発足することになり、設立準備会を六月二十六日午後六時半から新寝屋川荘で開いた。

この件については、寝屋川市役所文書課長薮田勉氏が手を尽して綿密な在住校友調べをされた結果六六六名と判明した。

当日は当市在住の樫本校友会長北河内支部長である荒川甫一郎、真徳舎耐火煉瓦専務北村文之助、前府会議長北川石松、府会議員藤井昭三、市役所薮田勉氏らが集まった。

協議の結果、住所判明の六六六名に対し往復ハガキで入会を勧奨して会員名簿を作成する。これが一切の準備は薮田氏に一任することとし、支部結成は九月中には完了することに一決した。

人それぞれ



各務原市長に当選した
平野喜八郎氏

□…去る五月に行なわれた各務原市長選に初出馬、見事当選の平野喜八郎（ひらのきはちろう）氏。「開票の翌日、初登庁し、当選証書を選挙管理委員長より手渡された時、勝利の感激とうらはらに、八万六千人の台所をあずかる責任の重大さを感じ緊張した。この一瞬を忘れることなく、清潔、融和、対話を政治信条として市民の幸福追求に寄与したい」と抱負を語る。

□…昭和十八年九月関大卒業後、陸軍特別操縦見習士官として大刀洗陸軍飛行学校に入校、十九年三月同校を卒業し終戦まで比島を振出しに南方各地を転戦。二十一年六月復員し、中村林産に入社した。中で嬉しかった思い出としては、復員して久し振りに祖国の土を踏んだ日、関大時代の親友の妹であった現在の夫人と再び相見えた日などがある。また戦友の戦死、捕虜生活中の食事のことでは特に辛い思いをしたそうである。

□…関大在学中では、昭和十六年十二月八日、大東亜戦争に突入した日の神戸学長の講演と、それを受けてピーンと張りつめた学園のふん囲気は今でも昨日のことのように思い出されるとのこと。またクラブ活動では、講演部に入り、先輩と共に大阪の街や学校で市民に訴えた事は楽しい思い出となっている。講義では岩崎卯一先生の「社会学」、蜷川虎三先生の「統計学」、石川興二先生の「経済政策」などに感銘を受け、熱心に聴講した。

現代の大学生については、パチンコ、麻雀も結構だが学生としての本分を忘れず、本来の大学が目的とした学問の道を目指して努力すべきであり、またそうすることによっておのずと自分自身の未来に生きがいを見出すことができるだろうとのこと。

□…「真実一路」「熟慮断行」が生活信条、趣味はクラシック音楽鑑賞、昭16大予2・昭18大経卒。

関大育英クラブが発足

五月十九日大阪市北区「大東洋」において、関西大学日本育英同友会の幹事OBと、大学事務局で奨学金担当者と元担当されていた方々の参加をえて、標記OB会が開催された。

この懇談会は昭和四十六年に開催された会合に次ぐ第二回目のものであったが同席上「この会を関西大学日本育英同友会（昭和三十一年発会）の在学中の幹事のみに限らず奨学生全体を含めて今までのこの会合の趣旨を拡大していこう」との意見がまとまり今後「関大育英クラブ」として発会することになった。とりあえず幹事中から次の役員等を決定したが、奨学生O・Bの方々の積極的な参加をお待ちしている。「関大育英クラブ」の概要は次のとおり。

1、設立趣旨

大学並びに大学院在学中に日本育英会の奨学金の貸与を受けた卒業生を対象に会員相互の親睦と本会にふさわしい事業活動を行い、積極的に大学並びに在学生諸君との交流を深め人格形成の一助を念願し終生豊かな人生を送ることをその目的としている。

2、事業内容

一、会員の共同研修
一、在学奨学生に寄与することを目的とする事業
一、海外研修
一、大学当局の事業活動への協力等

決定役員左の通り（○内は卒業年度を示す）

顧問辻見重行（現職の関西大学厚生課長にお願いする）会長小林司㉝、副会長清水利三㉝、奥田武㉞、幹事長南進㊷、幹事大谷豊一㉖、山本和弘㉟、明田恵子㊲、安福利夫㊴、頃安貞良㊶、山本雅俊㊵、藤本健㊸、市井一男㊸、小西敏夫㊹、粂康雄㊺、走出進㊻、山田裕㊼、田井地力㊽、会計石山博康㊳、菊岡俊彦㊴

ファミリー関大　(3)
大森俊次

親子6人が関大人
晩学の父が3年先輩

私は、もちろん関大出身、それに、男の子三人（うち二人は女婿）が関大出で、長女が、娘時代に一高勤務、末娘が図書館、後に商学部に勤めていた。シメて、親子六人が関大人ということになる。

さて、この間、別記の男の子たちに招集をかけ、関大のことを話し合ってみた。

――みんな、ご苦労さん、元気でやっているか。ところで、僕は知ってのとおり、晩学で、四十歳で関大にはいったが、それでも、みんなの中では、いちばん先輩だな。親の面目を落とさなくてすんだよ。

隆　ボクより、三年だけ先輩だ（笑い）

――頭がはげかかった親父が大学で勉強しだしたことについて、どう感じたかな。その当時…。

一繁　親父は変ってるなと思った。しかし、シリがこっちへきた。「年とってもこれだけやってるんだ。お前ら、もっと、しっかり勉強しろ」と、ハッパをかけられた。

――僕たち四人は、みんな法科ばかりで話が合うな。法科を出たことで、なにか感想はないか。

隆　ボクのように、中小企業づとめでは、関大法科出身ということで評価が高い。関大の法科とは立派なもんだといってくれる。

一繁　ボクは卒業後、去年の暮れまで、東京と仙台での生活だったから、あいにくそんな賞め言葉は聞かなかった。私学の雄ではあろうが、関西の関西大学かな。四国や九州では評判がいいらしいな。

――クラブ活動の思い出といこうか、僕は、四年間、学友会執行部に座りっぱなしで、ヒマがなくロクなことは、やれなかった。馬術部で馬に乗りたかったが、乗りそこなった。今からでは遅いかな。

俊彰　ムリですな、それに馬が「おことわり」というかもしれない。もし、落馬したら命にかかわる。（笑い）

一繁　ボクは、I・S・A（国際学生協会）の行事と、その準備のための金集めが印象にのこっている。大阪府と大阪市から十万円ずつ大阪市内の大企業はほとんどまわって、総計二百万円ぐらいもらったかな。おかげで、世界のいろいろな国の学生と交歓できてうれしかった。

俊彰　ほう、品のいいクラブだな。ボクは体育一途で、拳法、柔道。ことに、拳法を重点に。その当時、全関西、全日本でうちが優勝した。拳法は、関大で生まれ、育ったようなもんだからね。それにしても、あの当時、関大スポーツは全国的に有名だった。

――拳法は何段？

俊彰　四段です。

――柔道は？

俊彰　おもに高校のときにやったが、二段です。

――シメて八段。ただしコマ切れでな。ひとつのことで八段ならたいしたもんだが…。（笑い）ゼミはどうだった？

隆　ボクは、石尾先生の法制史これには、そうとう力がはいった。図書館がよいもした。大学で勉強らしい勉強はゼミが第一だと思う。それに、小人数だから、親しい友だちもできる。ゼミはいい。

一繁　ボクも賛成だ。ゼミではじっくり勉強ができる。科目は、大沢先生の国際法だった。

――ゼミは人気がええな。ゼミを五科目ぐらいにしてもらうかな。

隆　関大では、学園騒動なんて起きないと思っていた。それが、例にもれず、他の大学と同じようなことをやった。あのとき、なぜ、そんなことをと、腹だたしい思いだった。

――うん、そうだろう。O・Bはみな、そうであった。で、ほかになにか。

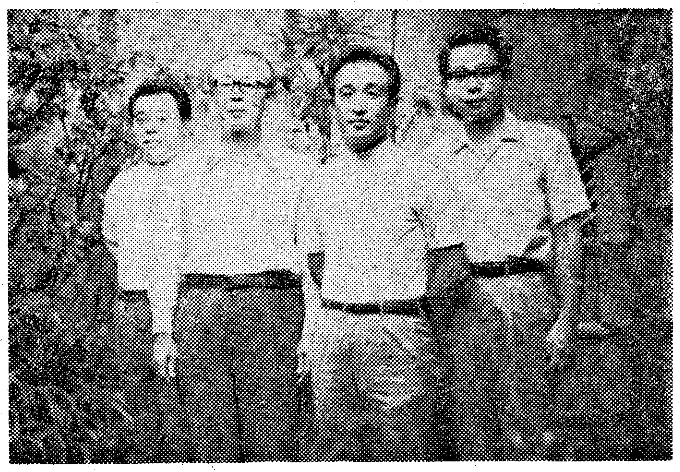
俊彰　ボクは、体育一途だったので、試験になってはじめて、その科目担当の先生の顔を見たというぐあいだった。（笑い）

――僕も、学友会の執行委員長のとき、登校すると、委員会室に釘づけで、教室に出られない。そこで、優秀な同級生のノートをすっかり写しとって勉強し、試験は大丈夫と涼しい顔でいた。ところがスベった。出席をとっていたんだ。千慮の一失だったよ。

一繁　関大のキャンパスはいいな。他大学の学生がきて、すばらしい環境だと賞めていた。

――では、この辺で……。暑いな、ビールにしよう。

父　大森俊次（昭28短二・昭30学二法卒、旭今市郵便局長）
長女の夫　田口隆（昭33学一法卒、金剛鋲螺KK工場長）
長男　大森一繁（昭36学一法卒、ヤンマー農機大阪支店企画課長）
四女の夫　久家俊彰（昭38学一法卒、城東関目二郵便局長）


（左から）俊彰、筆者、隆、一繁の皆さん

澤田支部長重任
東京支部総会に百名

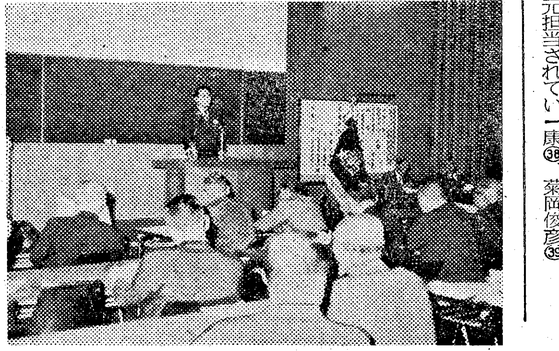
東京支部四十八年度春季総会は六月十六日午後一時から、千代田区平河の都市センターホテルに、広瀬学長、金田理事（理事長代理）樫本校友会長の三氏を来賓に迎え校友百名が参加して開かれた。

総会は、中島副支部長の司会で始まり、澤田支部長から前期庶務報告、収支決算報告の後、役員改選を行ない下記のとおり決定した。

新役員を代表して、澤田支部長から会員相互の親睦と会員増強に力を入れる旨の挨拶を行なった。続いて金田理事から大学の現状、広瀬学長から学内状勢、樫本会長から校友会の現状と二年後に創立九十周年を迎える母校への協力について、それぞれあいさつを兼ねた報告があった。

宴会に移り、板橋先生の発声で乾杯。宴が進み総会恒例の福引抽選が行なわれ、支部長を始め多くの校友の寄贈品が次々と全員に手渡され、時を忘れて歓談の後、学歌を斉唱。四時半過ぎに盛会裡に散会した。

新役員は次のとおり
〇支部長　澤田勇夫
〇副支部長　荻野正一　中島利夫　川合久男　及川昭二
〇常任監事（新設）　中村簡吉　秋元東洋男　先山保麿　生駒丈夫　松野精


東京支部総会で金田理事のあいさつ

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島一公
弁理士　藤本昇
大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・一三九四（四四三）六一五〇

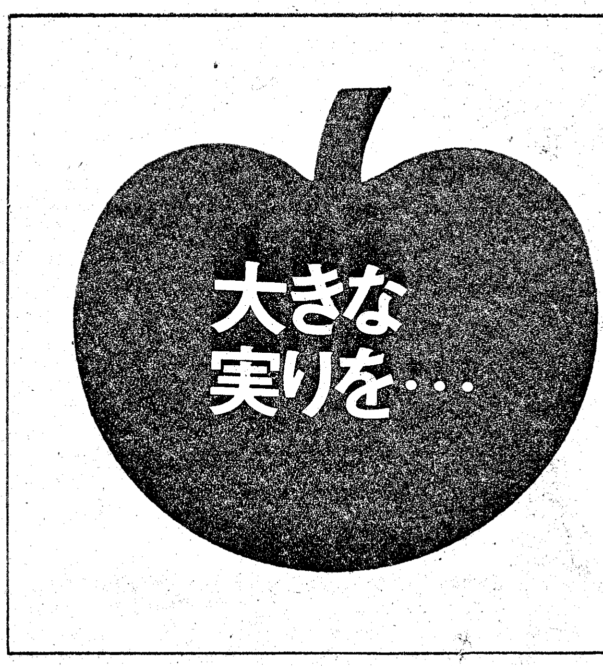
暑中お見舞申し上げます
校友会計人有志

公認会計士　浅野照雄　大阪市東淀川区西中島町四ノ七ノ五　チサンマンション新大阪一一階　電話（303）〇〇一〇・〇二一〇
公認会計士　税理士　浅山敏夫　尼崎市昭和通二丁目六七　電話大阪（481）一七四四・五七　七二・八三三一
公認会計士　税理士　東昇造　大阪市西区九条南二ノ一　電話（581）九六八四
公認会計士　税理士　不動産鑑定士　上田高嶺　大阪市北区万歳町四三伊藤ビル　電話（312）九六七一（代）
公認会計士上田義雄事務所　上田義雄　大阪市福島区大開町一ノ四三　電話（462）八一六一（代）
不動産鑑定士　税理士　植田穣　住所東大阪市若江本町四ノ八ノ一〇　電話大阪（721）七六八七　勤務先勧業不動産株式会社大阪支店　電話大阪（201）三九〇一（代）
公認会計士　税理士　梅井龍一　堺市南向陽町一丁四ノ一六　電話堺（38）一七二一（代）
公認会計士　税理士　江本弘　大阪市天王寺区生玉町五三ノ七　電話（771）三八二四　自宅茨木（24）二三五九
公認会計士　大川敏雄　大阪市東住吉区駒川町二ノ二九　電話（741）四九〇七
税理士　大沢文次郎　大阪市西淀川区姫里町二ノ七ノ三　電話（474）〇二一二
大西公認会計士事務所　天王寺データセンター株式会社　〒543　大阪市天王寺区烏ケ辻町一ノ一三　電話（772）一八三一
公認会計士　税理士　大森文雄　事務所大阪市天王寺区上本町二ノ二ノ一〇大岡ビル　電話（762）二一七二　自宅東大阪市長楽寺二ノ五七　電話（781）三六五四
日新監査法人　代表社員　公認会計士　逢阪勝見　大阪市北区梅田七　梅田ビル　電話（345）三九七一～五　三〇〇九
大阪府会議員　コンピュータ会計　税理士　オクムラハジメ　奥村肇　豊中市曽根東町五ノ一七ノ二三　電話〇六（863）〇四六一

加茂公認会計士事務所　公認会計士　税理士　加茂三郎　大阪市大淀区大淀町中一ノ一七　電話（451）三二〇三・五二〇一
公認会計士　税理士　柿本鳳三　大阪市天王寺区松ケ鼻町一五七　電話（771）〇八二一（代）・六二六一　自宅大阪市東住吉区田辺東ノ町八ノ三一　電話（692）三三九〇（697）二三〇三
税理士川又頼政事務所　川又頼政　大阪市西区土佐堀通三ノ六一　電話（443）三八九一
公認会計士　税理士　木下栄繁　和歌山市小松原通一丁目一　電話〇七三四（24）三三四一（代）
公認会計士　北浦資生　大阪市東淀川区西中島町一ノ二四
税理士　北野善四郎　大阪市北区万才町五二萬栄ビル　電話（313）一九四〇・三九二九
公認会計士　久保正信　神戸市生田区再度筋町五四　電話神戸〇七八（382）〇〇四八（341）七八四九　八八〇九
公認会計士　郡栄作　大阪市大淀区本庄中通二ノ一五　電話（371）一〇六六・〇三四〇
国分公認会計士事務所　公認会計士　税理士　国分吉広　大阪市天王寺区大道一ノ二ノ三　電話（771）〇九五一～四
公認会計士　税理士　坂井忠男　大阪市東住吉区田辺西ノ町一ノ六　電話（717）四六三七　自宅大阪市住吉区北島町一ノ三　電話（681）九三二七
税理士　佐々木六三郎（昭一七大経卒）　京都市上京区油小路通下長者町下る　電話京都〇七五（451）三六四三
坂本龍夫会計事務所　税理士　司法書士　坂本龍夫　電話（631）一八〇三（633）三七八五（641）五二一六
公認会計士　堺博　〒556大阪市浪速区新川三ノ六三〇ノ三　南大阪ビル　電話（633）二七二五　自宅〒586河内長野市北貴望ケ丘三〇―三〇　電話〇七二一五（2）三三一七五
公認会計士　税理士　篠田要　大阪市浪速区日本橋東三ノ一四ノ五　電話（641）六四〇二（633）〇八二九

嶋会計事務所　税理士　嶋謙三　大阪市北区此花町二ノ五四　花住ビル三階
校友会住吉支部長　島津会計事務所　島津徳三　支部への連絡は　大阪市住吉区安立町一〇ノ七〇　電話（678）三三二一（代）
公認会計士　鈴置（スズオキ）正雄　大阪市西区北堀江上通二ノ六　清和ビル　電話（531）二三五五（代）
税理士　谷口実直　大阪市南区上本町三ノ一七　大野ビル内　電話（763）〇三〇四（代）
公認会計士　津田良雄　大阪市北区天満橋筋一ノ二六　電話（351）〇〇二四・二四三〇　自宅宝塚市仁川台一八
公認会計士　中尾勝二　大阪市南区安堂寺橋通四ノ一　トミオビル内（心斎橋筋）　電話（252）〇八八一（代）
中谷公認会計士事務所　公認会計士　税理士　中谷政男　大阪市南区難波新地二番丁二六　電話（213）〇三七八（代）
中橋公認会計士事務所　公認会計士　中橋徳蔵　大阪市北区老松町三丁目二一　昭和ビル三一一号室　電話（361）三四六四　自宅神戸市東灘区魚崎北町七ノ七ノ一〇　電話〇七八（411）〇一三四
公認会計士　税理士　西田幸雄　京都市中京区新町通三条上る　電話京都（241）一二三八（代）
公認会計士　税理士　西脇吉幸　大阪市東淀川区西宮原町一ノ二七ノ一　グランドマンションニュー大阪二階一〇六号　電話（395）〇〇九六・〇〇九七
公認会計士　税理士　拝郷木　住所岡山県赤磐郡瀬戸町瀬戸七二ノ二六　電話岡山瀬戸（〇八六九五）②〇〇五五
羽賀一郎
橋田義明　大阪市北区鳴尾町一〇　電話（361）二二九七（代）
公認会計士　畑下辰典　大阪市天王寺区上本町五ノ三ノ二〇　ヤマトビル　電話（762）八一二一～二

住友セメント特約店
原田セメント化工株式会社
JIS規格表示工場
泉州生コンクリート工業株式会社
新建材の総合代理店
大統商事株式会社
代表取締役　原田重信
本社　大阪市此花区朝日橋通二ノ十三
電話　四六二―一二二一代表
生コン工場　岸和田市上松町三十五番地
電話　〇七二四（三九）四六六七番



預金も／信託も／不動産も…
大和銀行

丸善石油株式会社
ヤンマーディーゼル　特約店
ヤンマー農機
YANMAR
小林産業株式会社
取締役社長　小林君次
本社　伊丹市南本町1丁目18番地
電話　伊丹 0727(82)5312―5
営業所　東播農機石油販売所
兵庫県加東郡社町藤田
電話　社 07954(2)―0076
(2)―0088

ジャングルで出産

インディオの通過儀礼

探検部アマゾナス踏査隊報告（6）

人間の生活には、それぞれ出生、成人、結婚、死亡などというものが存在する。我々の社会においても、インディオの社会においてもこうしたことは何らかかわりがない。しかし習慣がいろいろと異なるように、当然我々と彼らの様式は異なる。こうした人の一生のことを通過儀礼と呼ぶが、ここではこれを中心に述べていこう。

出産・育児

産屋というものはなく、彼らの社会では、必ずジャングルの中に出かけて適当な場所をみつけて出産する。この場合一人でも出産は可能であるが、普通は幾人かの女性を伴って手伝う。以前は夫が迎えに来るのを待つという形式をとったようであるが現在では、出産後すぐに戻ってくるのが一般化している。我々は偶然に出産直後を目撃できたのであるが、男が出産直後の様子を見られたということは極めてまれなことであったようだ。

我々はシリアナ族、ロベルト部落、副酋長アントニオの妻（第二夫人）ローザ（推定年齢二十歳）が近々出産するのではないかと思いマークしていたが、ある日の午前中、女性達が二、三人、ジャングルの方へ走っていくので何ごとかと思い、カメラを片手に飛び出していった。（私は直感的に子供が木から落ちたと思った）女性達が中に入ってゆけというので、入っていくとローザが寝ころがって、下半身血だらけで、その横にやけになま白いものがあった。それが赤ん坊だった。その側に血のかたまり、そしてその横にローザの娘（三歳）がすわっていた。

とにかく一度、藤本隊員のところに戻って、再びかけつけて、二人してなんとも奇妙な気持で、胸がわくわくした。彼女は自分の娘一人をジャングルに伴い、一人で出産したのであった。しばらくして血のかたまりをバナナの葉につつみ、それを捨て、三歳の娘を頭から後方につるすように、おんぶして、赤子を抱いてジャングルを出た。その側には女の人達が七名ほど集まり、みな顔中喜びの色いっぱいで、我々も嬉しくなってローザの肩を何度もたたいた。

その後ローザは部落に戻って、赤ん坊をさとうキビの皮でクリーニング、そして水洗い。夜になって、ローザのハンモックをのぞきに行くと、彼女は一つのハンモックに娘二人を抱いて、自分はハンモックから体が半分出て、はみ出した大きなお尻の下にマキをひいて横になっていた。彼女はいつまでも眠れないのか起きていた。何かしら胸が熱くなって我々も夜遅くまでねむれなかった。

なお、翌日からローザは日常通りの生活、マキ割り、水汲み、食事の世話、変わったことといえば今まで一人抱いていた子供が二人になったことだけである。ああ女性は強いと感心させられたものである。

育児は母親がほとんですべての世話をする。父親も抱いて眠ることもあるが、どこに行くのも幼児は母親と一緒である。一般的に二人の夫人がおれば、年長のものが料理を、年下の者が育児といわれるが、厳密な区別はおこなわれていない。それよりは幼児というのは部落全体の子供という意識があり、あっちこっちでバナナやイモなどをもらって食べているのである。

ロベルト部落の酋長の第一夫人、2人目の子供を抱いている（22歳位）

初　潮

幼児が三才位になると名前が付けられ、女の子が十歳位から十二歳位になると初潮をむかえる。この時彼等の社会ではまず小屋を建てる。この小屋を建てるのは若い女性達である。（初潮を終えた）これはバナナの葉によって二～三尺位の小さな小屋であり、中には火をもやすものしかない。この中で約二週間一人で生活するのである。この期間中の食事は焼きバナナと、からし入りの水だけである。この期間中は女性はブエマク（腰にまいているもの）もはずし全裸となる。そうしてこの期間が終ると、水の予備で体を洗い、それが終ると一人で赤いウルク（植物性）を体中に塗り化粧をする。そうしてこれが終ると母親があればその小屋より一緒に連れて出る。なおこれは一度かぎりで、二度目からはこうしたことはない。

我々はシリアナ族、ロベルト部落で、ジャニィ（推定年齢十二才）の初潮に偶然に出会ったが、彼女はこの儀式を完全に行った。さてこれが終ると女性は一人前の女性とみなされるわけで、十五才までには完全に結婚していくのである。男性の場合成人式というものがなく、もうひとつはっきりしないのである。

老　年

前回婚姻と離婚については説明しているので、ここでは老年について説明する。なおこの間には性という問題もあるが、これも書き始めると短い文では誤解を受けるので省略する。（報告書にて読んで下さい）

一般に老人が必ずしも、すべて尊敬されているとは限らず、老人でも病気になって淋しく、世話する人もなく死んでいく人達もある。老人の権威とはその人物のこれまでの評価によって老後の生活も影響され、発言力、生活力が決まるといってもよい。しかし老人（長老）の権限はやはり強いものといってよい。

ここでは私は一応40才以上を老人とみなしたが、50才以上が適当なのかもしれない。

平均的に男性が長生きであり、女性は少ない。なお、推定年齢60才以上は皆無と思われる。

そうしていよいよ死者が出ると、そのしかばねを焼く、そして焼いたものを砕き、お祭りの時にシンガオ（おかゆ、バナナ）に混ぜて飲む。これは死者の生存中の勇気や力を自分の体の中に入れて、それを受けついでいくためである。

病　気

ここで通過儀礼とは関係はないが、特に一生のことでついてまわる病気のことについて説明しよう。

幼児死亡で多いのはアメーバ赤痢、百日ぜき、はしか等による死亡、また成人ではマラリヤ等の高熱による死亡が多い。以前シリアナ3部族ではしかにかかり、その時二〇名以上死亡したといわれるが、そのうちの半数近くは信仰ゆえ何もたべないために餓死したそうである。幼児の病気ではとくに皮膚病の多さが目立つ。

なお八月二十三日から二十八日まで、大阪梅田・阪神百貨店において、読売新聞社の主催により、写真・民具展を開催します。ご来訪下さい。

（昭四七学一社　松木洋）

桂・山本両氏を悼む

文学部教授　横田健一

去る七月二十四日に山本順応氏、翌二十五日に桂忠雄氏が相ついでなくなられた。今年の夏はほとんど雨が降らず、カンカン照りの酷暑がつづいたためか、お年寄りの亡くなられた方が多い。本学も職員中の最長老である両氏を同時に失って、悲しみに包まれた。ここに両氏の行迹をかえりみて、哀悼の意を表したい。

勤続54年の記録

桂氏は明治二十六年十一月二十九日、京都府南桑田郡河原林村に生まれた。京都府立農林学校を経て、大正二年四月、関西大学専門部法科に入学、同時に雇員に任命され、今日でいうなれば、アルバイト学生として、勤めながら学んだ。それは氏の伯父垂水善太郎氏（関西法律学校明治二十四年卒）が幹事として、本学の事務局を切り回していたので、伯父に頼んで上阪、本学に入ったわけである。

大正六年、卒業、書記に任命され、爾来、主として会計、経理局に勤務し、昭和四年五月には会計主任を命ぜられ、忠実にその職務を果した。昭和二十二年、参事に昇格、経理局長を命ぜられ、同三十三年停年解職後も経理局長を嘱託せられ、三十六年八月末日まで、その職にあった。本学の経理の長たる期間は実に三十二年間の長きに及んだ。

その間、本学の財政状態は幾変転したが、昭和二年末の宮島事件によって同三年に山岡総理事引退後、本学の経営の中心となったのは砂川雄峻、喜多村桂一郎の叔父・甥の二理事であった。昭和十四年喜多村首席理事の死ぬまでの十一年間と、それに代って首席理事となった吉田音松理事時代の七年間、計十八年間は本学の大緊縮財政時代であった。当時の教職員のすべての人が口をそろえていうところであるが、鉛筆一本、便箋一冊を会計から貰うのでも、なかなかやかましく、出張でも、例えば、天六から阪神野田駅まで行くのに市電よりも北大阪線の方が安いというので、北大阪線の旅費を支給せられたという。

かくて昭和八年に百数十万円の借金を返済後、終戦迄の十二年間に、本学は実に百七十六万円の基本金を蓄積したが、これは戦前の本学の三年分の経常費に相当した。それが戦後のインフレで凍結中に下落、雲散霧消した。これは全教職員の痛恨したところで、あの金を有効に使用していたならばの悔みの念が強い。こうした責任は実は戦前の理事会。とくに最高の地位にあった喜多村、吉田首席理事の指導方針にあったが、教職員の恨みは、直接会計実施の当事者、金庫番の桂氏に向けられた。

理事会の方針を忠実に守ったにすぎない氏にとって、こうした怨嗟の声は迷惑であろう。

氏は停年直前の一年間は総務局長をも兼務した。解嘱後も寄付金募集事務、八十周年記念事務局、財務局資金課等に四十二年五月末までつとめた。その関大在職は正職員として四十一年間、嘱託期間をいれると通算五十四年間に及び本学の教職員を通じて、長期勤続のレコード・ホールダーである。なお氏は大正年代には関西甲種商業、同第二商業等にも教諭を兼ね教鞭もとった。私個人の思い出では、関大七十年史の編集を昭和二十八年秋より開始して間もなく、経理局に顔を出した時、こんな書類があるといって示されたのが、創立事情について記した志方鍛（創立者）の大正元年の書簡と明治十九年十月十六日付の小倉久初代校長、吉田一士初代校主連名の士居通夫名誉校員宛の金百円也の借用証文とであった。この二つが本学の創立事情を明らかにするに預って非常に力があった。また関大の思い出話を聞かして欲しいという私の申し出に対して、ある日曜日に天六の経理課へ来てほしいといわれ、森閑とした室で話を聞いたが、その際、垂水氏宛の明治大正時代の学校関係者の多くの書簡を示されたことや、大正から昭和初期の新聞のスクラップブックを編集室に寄贈して頂いたことなども、有難いことであった。ずいぶん健康で余り病気もしない人であったが、老衰には勝てず、八十歳で逝去、八月二十七日暑い日の午前自宅で葬儀が行われ、多数の校友、教職員が参列、氏の冥福を祈った。

教育後援会を推進

山本順応氏は明治三十二年三月二十日兵庫県印南郡別所村で生まれ、大正十二年本学専門部法律科を卒業したが、在学中、桂氏同様雇員として大正九年、入学と同時に勤務、十二年卒業と同時に書記に任命された。氏は桂氏の下で会計課などにも勤務したことがあるが、学生課に勤務した期間が相当長い。それだけに学生をよく世話し、学生と親しく、卒業生にもなつかしむ人が少なくない。

本学出身の洋画家として名声をはせた鳥海青児氏は在学中画筆とマンドリンに親しんで、ほとんど勉強しなかったので、卒業も危まれる状態であった。氏自身は卒業試験を投げてしまって登校しようとしなかったが、山本氏が再三氏の家へ出かけて行き、とにかく試験を受ければ何とかなるといって受験させた。教授の中では水谷揆一先生が鳥海氏に何とかしてやるといわれたという。水谷先生のお話では普通ではとても卒業できない成績だったが、ムリに通したという。鳥海氏はそれだけに山本水谷両氏を非常に徳としていたのは、筆者も直接昨春四月に聞いたところである。

桂氏の堅実、実直融通がきかないのに反し、山本氏は学生などのために世話ずきであったので堅い一方の先生方からどうこういわれることもあったようである。氏は昭和十一年学部予科学生課主任心得、十三年同主任、二十二年学生課長、二十三年経商学部事務課長等を歴任。二十八年六月末依願解職、二十九年五月教育後援会連絡事務を委嘱され、爾来教育後援会の組織の確立、充実に大いに奮闘せられた。

四十二年五月に教育後援会幹事長を解かれるまで十三年間に氏の努力によって後援会の発展、その行った事業は目ざましいものがあった。例えば会報の発行、その充実、教育後援会館、同合宿所の建設、五〇メートル公式プールの建設、関大PR映画の作製、学生のクラブ活動の後援、地方懇談会の開設など枚挙に暇がない。その勤務期間は正規の職員として三十五年間嘱託期間をいれると四十七年間に及ぶ。不幸にも退職の前後より中風の気に悩まされ、次第に言葉が不自由となり、ものがいえなくなったのは気の毒であった。本年七月二十四日逝去。享年七十四歳。

七月二十五日の葬儀には本学の多くの教職員の他に、氏が晩年に力をつくした後援会関係者の多くの人々の弔慰がみられたのは、氏の本懐とするところであろう。

終に両氏の冥福をつつしんで祈り筆をおく。

書斎の窓　㊳

企業のコミュニケーション活動

―経営理念とマーケティング

大石準一

コンシューマリズムの台頭に代表されるように、一九七〇年代に入ってからの企業をとりまく環境は著しく変化した。これまで高度経済成長政策の波に乗って企業利潤の追及を第一義とし、GNP至上主義に徹してきたわが国の産業経済界も、ここで大きな壁につきあたったと考えられる。その中でもとくに著しい変化は、企業と消費者との関係ではなかろうか。大衆は企業成長の論理を否定し、「大きいことはいいことだ」ではなく「大きいことは悪いことだ」と考えるようになり、極端な場合には企業の存在そのものをも否定する傾向がうかがえるようになった。公害や欠陥商品の摘発、二重価格問題に端を発した不買運動、買い占めの告発等、例をあげるまでもない。

□企業と対決する消費者

企業に対するこうした消費者の動きは、なにも最近に始まったことではない。ヨーロッパではすでに十九世紀末に生協活動的な運動が進められていたし、わが国でもオシャモジ運動に代表される主婦の運動は古くから存在していた。だがその時代における消費者の意識は、企業の存在や成長の論理、利潤追及のメカニズムに疑問を持つものではなく、巨大な企業の力から消費者の保護を求めるという姿勢にすぎなかった。ところが、アメリカにおいては一九六二年のJ・F・ケネディによる有名な「消費者の利益保護に関する特別教書」以降、わが国では昭和四十三年に「消費者保護基本法」が国会を通過して以降、消費者の企業に対する意識は一変した。これまでのように保護を求めるといった消極的な姿勢から、企業成長のメカニズムや成長に伴うさまざまな弊害を告発し、企業と対決する姿勢に変わったのである。コンシューマリズムが生活者主義と訳されているように、単なる消費者の運動ではなく、生活者としての権利を主張する動きであると認識せねばなるまい。R・ネイダーの企業告発運動やわが国におけるカラーテレビ不買運動は、こうした消費者の意識変化を示す代表的な動きであろう。

このように消費者の意識の底に流れる企業不信感は、当然企業を送り手とする広告の効果にも影響を与えないわけにはいかない。コンシューマリズムが社会問題化した昭和四十三年頃、ある企業は広告すること自体が批判の対象になることを恐れて広告出稿量を極端に押さえたりある企業では商品について訴求したい肝心のポイントをぼかして、CMソングや風景描写で逃げるという手法を使った。事態の変化を直視しないで、逃げをうったり、小手先の技術だけでごまかそうとしてきたのである。

だがその後の広告効果研究は効果モデルが単一のものでなく商品特性によっていくつかのモデルが必要であることを示唆している。とくに商品に対する自我関与（エゴ・インボルブメント）の程度によって効果のプロセスが異なるのではないかという仮説がある。自我関与とは商品と自我との関係に重きを置く態度で、たとえば自我関与の高い商品群として乗用車、化粧品ビール、ウイスキーなどがある。逆に自我関与の低い商品には家庭電化製品や日用品などをあげることができる。こうした自我関与度の低い商品群では従来マスコミュニケーション研究で明らかにされてきた効果モデルは適用されず、広告コミュニケーション独自のモデルが考えられなければならない。広告に接触し、それを認知し、態度が変容し、購買行動に移るという従来のモデルではなく、広告に接触しているうちに知覚枠が変化し、態度変容というプロセスを経なくても購買行動に影響を与えるというモデルである。したがって自我関与度の低い商品群では、企業に対する不信感が生じても効果にはさほど大きなマイナスはないと考えられる。かかる商品に関する広告に対しては、消費者はさほど意識的に接触したり、銘柄選択行動を慎重に行うこともないと言える。

□情報の多元、多極化時代

ところが自我関与度の高い商品群では、そう簡単にはいかない。企業不信感が直接広告効果に影響することが想定されるからである。結論から言うと、広告だけでは事態は解決しないと言える。企業のマーケティング・コミュニケーションとは「企業がさまざまな媒体を用いて消費者に、企業にとって望ましい行動をなさしめるために、自己の製品についての情報を伝え、それが意図した反応を生み出したか否かを確認する過程」である。したがって、そのコミュニケーションのチャネルも、卸売店や小売店を通じて流れるもの、オピニオンリーダーを経て流れるものなどさまざまである。また情報を伝える手段としてのメディアも多種多様である。ある場合には商品そのものもひとつのメディアと考えることも出来る。マスメディア広告は、このようにさまざまな企業のマーケティング・コミュニケーション活動のひとつの手段にすぎないのである。マスメディア広告だけをいかに展開したところで、それ以外のメディアやマーケティング諸活動と矛盾するようでは、かえって消費者の不信感を増す結果となろう。情報化社会にあっては、情報は多元化し多極化している。レコードがモノラルからステレオへさらに4チャネルからマルチチャネルへと移ってきたように企業情報もマルチチャネル化しつつある。その情報のひとつひとつが矛盾した情報を流したとするならば、消費者にとってはまさに騒音であり、不協和音でしかないことになる。

□マーケティングの原点に

したがって企業にとってまず必要なことは、マーケティング諸活動の基盤となるべき経営理念の確立である。現代の経営理念に欠くことのできないのは消費者の利益をどう組み入れているかという企業の社会的存在意義であろう。具体的なマーケティングの展開においては、そのシステムの中に消費者利益を組み込んでいくという方向でなければなるまい。これまでにも消費者志向のマーケティングとか消費者中心の経営という言葉はあったが、実態は生産者志向であり、企業利益中心のマーケティングでしかなかった。昭和三十年代にアメリカから導入されたマーケティングはすべてセールステクニックとしてのマーケティングであり、肝心の思想や哲学というものは全く無視されてきた。いま再びマーケティングの原点に立ち戻った経営理念の確立が必要な時であろう。

具体的なマーケティング・コミュニケーションの展開において、とくに必要なことは、フィードバックシステムをどう組み込んでいくかという問題であろう。これまでの企業のマーケティングコミュニケーションはすべてワンウェイの一方通行的な情報の伝達でしかなかった。確かに、これまでも消費者調査やモニター制度などによって消費者に関する情報は収集されていた。しかしその多くは企業利益を高めるための情報収集であり、マスの次元で分析されたり、プラスの情報だけを集めることが多かった。少数意見は無視され、マイナス意見もプラス意見との相対的比率でしか問題にされなかった。しかし消費者利益を前提に考えるならば、少数意見でも、マイナス意見でも貴重な情報としてフィードバックする必要があろう。たとえ何万人の中の一人でも著しく消費者利益が損なわれるならば、大きな問題となろう。こうしたフィードバッグシステムの具体的な例としては、企業あるいは業界全体の苦情処理ないし消費者相談の窓口を設置することである。

□迫られる経営理念の確立

私が昭和四十六年八月全国の上場企業二五二社に対して行ったアンケート調査によると、約三分の一の企業でしか消費者専門の窓口組織を設置していなかった。業種によっては皆無の業種もあり、近い将来設置する計画があるという企業もすくなかった。上場企業でさえこの程度の数値であるから、全企業で考えるとほとんどないと考えてもよいほどである。また業界全体でかかるフィードバックシステムをとっている例として、アメリカのBBB（ベタービジネスビューロー）がある。BBBの歴史は二十世紀初頭にまでさかのぼることが出来るが、広告に対する消費者の不信感を除くために、業界全体が協力してBBBを設立し、以後消費者の広告に関する相談や苦情処理、あるいは業界の自主規制機関として高い評価を得てきた。わが国の広告業界においても、これに類似した機関の設立の動きはあるものの、まだ実現までには多くの問題が残されているようである。

このようにわが国においては、コンシューマリズムという大きな流れの中で、各企業あるいは業界全体においても適当な対応策をたてていないというのが現状であろう。その対応策が単に広告だけとか製品企画、販売計画だけの問題でなく、企業全体の経営理念の確立とそれに基づく各マーケティング諸活動が調和することによって、初めてコンシューマリズムに対応できる企業に成長するのではなかろうか。単に小手先のテクニックやその場限りの対応策ではどうにもならない時代になったという認識に立たねばならないであろう。

（社会学部助教授）

特許・商標・出願全般・審判事件
日・英・米・独・仏・伊・スイス・ベルギー・中近東・東南アジア諸国・韓国等取扱

鈴木国際特許事務所

所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　竹田明弘

大阪市西区西長堀南通一丁目九番地　藤村ビル二階
（四ツ橋交叉点南50m東側　地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出入口隣）
電話　大阪　〇六（五三二）七四三一～七四三四　七四三五（所長室）

花野公認会計士事務所
公認会計士 税理士　花野重夫
大阪市西淀川区柏里町一ノ五五
電話（471）三五九八

計理士 税理士 市嘱託　坂東勇治
大阪市福島区上福島北三ノ一二三
電話（458）一七六八
自宅吹田市千里山東一ノ七ノ二五
電話（388）五七九〇

日野上会計事務所
税理士　日野上輝夫
〒546 大阪市東住吉区平野田畑町三三
電話（791）〇七二四

公認会計士・税理士　日和佐良太郎
大阪市東成区東今里町三ノ二〇ノ一八
電話（976）〇四四四～五

公認会計士 法学修士 税理士　平野資挙（本名 繁敏）
大阪市西区川口町一二川口ビル
電話（582）一六九〇・〇九六七

公認会計士税理士
福田憲弥事務所
福田憲弥
神戸市生田区栄町通四丁目二三
同和第二ビル

藤原龍太

暑中お見舞申し上げます
校友会計人・司法書士有志

司法書士 税理士　阿部敏雄
神戸市生田区中山手通三ノ一
神戸税理士会館ビル二三号
電話 〇七八（241）二四九九

市川徳明
吹田市寿町二丁目一四ノ二

司法書士合同事務所
司法書士　上野義治
司法書士　田畑孝康
大阪市北区真砂町七八ニュー真砂ビル（大阪合同裁判所北門前）
電話（364）六三九一二

司法書士　植田喜一
大阪市東区京橋三丁目二
電話（942）五四三四（代）

司法書士 税理士　奥朝三
大阪市東住吉区田辺東之町八ノ三六
電話（691）五〇〇五～七

司法書士　河村政彦
大阪市東成区大今里西三ノ七ノ一〇
電話（971）六二八四

公認会計士　二見豊一
大阪市東区平野町一ノ三　三洋ビル
電話（231）九七八二～四

公認会計士 税理士　牧村恵司（本名 正夫）
大阪市天王寺区勝山通三ノ二〇三
電話（771）二九〇三・六五七六

公認会計士　松崎義隆
大阪市東区南久太郎町三ノ一〇
丸忠第二ビル　電話（251）六七二一（代）
自宅豊中市南桜塚三ノ九ノ二五
電話 大阪（852）二三二六

宮口会計事務所
税理士　宮口明
高槻市芥川町一丁目一〇ノ二〇
電話 〇七二六（82）五七八〇（代）
自宅高槻市郡家本町一五六三ノ九

公認会計士　宮越功
税理士　川崎宗一
東大阪市下小阪四九二ノ一
電話 大阪（721）〇七七七

公認会計士 税理士　森下良雄
東大阪市若江本町二丁目三ノ二〇

公認会計士　森田森
岸和田市野田町一〇九

不動産・会社・その他の法人登記
司法書士　田中政夫
大阪市東住吉区西鷹合町一ノ一〇
電話（692）二九二二（代）

司法書士　高井弘子
大阪市北区老松町三丁目二七
三和ビル
電話（365）一一八六

高橋孟
高橋一夫
大阪市東区谷町二丁目四一
電話（941）二六七〇・四七五五

司法書士　竹田操司

司法書士　竹村奈良長
豊中市宝山町一六番一〇号
電話 〇六（852）三五八七

土地家屋調査士　坂本壽三夫
豊中市岡町北一丁目三番九号
電話 〇六（841）一三二〇

司法書士　塚本哲
豊中市宝山町一二三番一号
電話〇六（852）一七一九

矢野公認会計士事務所
T・K・C矢野コンピュータ会計事務所
公認会計士 税理士　矢野秀治
〒598 泉佐野市高松町一五四七ノ三
電話泉佐野〇七二四（62）〇六八～九

公認会計士　山田栄一（昭二五大経卒）
大阪市天王寺区勝山通一ノ二〇五
電話（779）七二〇七（代）

山田会計事務所
税理士 中小企業診断員　山田政義
大阪市北区菅原町三三
電話（364）一九三一～三

公認会計士 税理士　山根賢蔵
大阪市東区道修町二ノ二〇
電話（231）六二四六・六四五〇
自宅 堺（61）一三六四

山本守昭会計事務所
税理士　山本守昭
大阪市西区京町堀通五ノ三八
電話（441）一〇七九・四四五三

公認会計士　米山正次

学校法人八洲学園
玉造経理専門学校
理事長 校長　和田秀一
〒540 大阪市東区川西町五四六
電話（762）一二四八（代）

司法書士　萩原弘
伊丹市伊丹字外城七〇九
電話伊丹（82）二二七八

司法書士　樋口徹雄
大阪市天王寺区六万体町七
電話（771）二六二六・（772）〇六四〇

池田市議会議員
人権擁護委員
司法書士　細井茂雄

司法書士 土地家屋調査士　森哲夫
〒530 大阪市北区絹笠町一三
電話（364）三六二七・〇四四八

司法書士　安喜正雄
大阪市天王寺区六万体町七
電話（771）三七七六・三七七七

司法書士 土地家屋調査士　山中清
茨木市上中条二丁目二ノ一八
電話〇七二六（25）一三七三

制禦盤配電盤製作・計装工事

共栄電器工業株式会社

取締役社長　柳楽喜祐

本社　〒660 尼崎市杭瀬北新町1丁目3番地
電話大阪（481）8807～0番（代表）（489）3041番
東京営業所　〒176 東京都練馬区早宮2丁目26番25号
電話東京（932）6266～7番

より静かに
より安全に
よりきれいに
新MAX
ダイハツ コンソルテ クーペ
お隣りさんにもよろこばれそうな新MAXで～す。だって、やさしい心づかいでいっぱいですもの。

ダイハツ大阪グループ
〈本社〉☎06（458）0031
〈支店〉☎0722（72）1021

塩化マグネシウム
フレークニガリ
臭素及臭素酸
臭化水素酸
硫酸マグネシウム
苦汁加里塩
軽質炭酸マグネシウム
水酸化マグネシウム
炭酸マグネシウム成型保温材
ゴム用炭酸マグネシヤ
ホワイトカーボン
ソーダ灰
炭酸カルシウム
硅酸曹達
塩化カルシウム
化学石膏
其他化学工業薬品全般

大阪苦汁商工株式会社

取締役社長　木村弥榮

大阪市北区北浜1の6（野村ビル内）
TEL（231）3581～5番

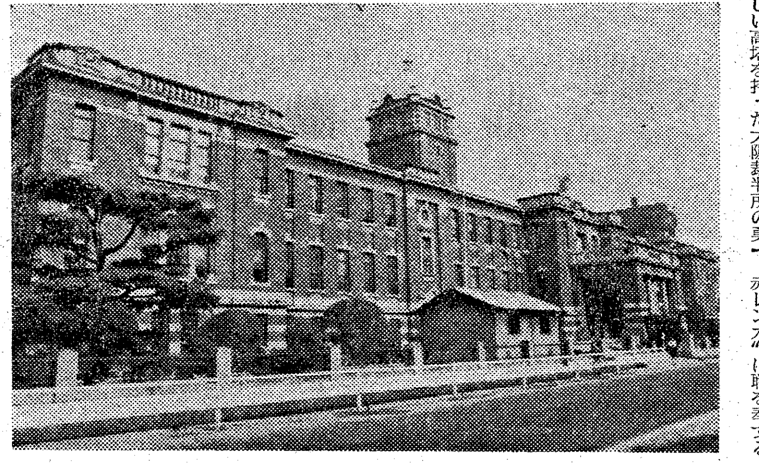
〃赤レンガ〃

浪花っ子に親しまれた57年

佐和田　丸

〃赤レンガ〃――。

それは伝統の権威を誇るかのように、大阪の空にそびえ立つ、美しい高塔を持った大阪裁判所の勇姿に対する、浪花っ子達の心からなる愛称である。時節流るるが如く時人を待たずで、私も、この〃赤レンガ〃に職を奉ずるようになって、いつのまにか十年近い星霜が流れた。



〃赤レンガ〃の愛称で親しまれている大阪裁判所

美しい高塔、緋色のレンガが周囲の樹木とよく調和して、まことによいふん囲気を醸し出しているちょうど、一幅の絵画を観るようである。なかんずく、雨の日の〃赤レンガ〃はすばらしい。翠樹のみどりは一層鮮かに、雨に濡れた〃赤レンガ〃はえも言われぬ色を呈する。そして画竜点睛するが如くに、高塔の白緑色のドームが天響高く映えるのである。私は、雨に洗われた〃赤レンガ〃との関係については、今更贅（ぜい）言を要しないであろう。本学にとって〃赤レンガ〃の前身は、言わば生みの親であり、揺籃期時代は育ての親でもあった。〃赤レンガ〃に触れずして、本学の歴史を語ることはできない。願宗寺に始まる本学の草創時代と、今日の隆盛をみるに至った本学とを併せ考えるとき、うたた今昔の感に堪えないものがある。

水の都・大阪――。その万緑したたる中之島の一角に、この〃赤レンガ〃が呱々の声を上げたのは何時のことであろうか。朝日新聞社編「大阪・いまとむかし」を繙くと次のようなくだりがある。

大正五年に完成

明治六年、大阪・中之島一丁目に大阪裁判所（現地裁）同、西道頓堀通一丁目に大阪上等裁判所（後の控訴院、現高裁）が開庁。同二十三年になって、現在の北区若松町に合同庁舎が出来た。控訴院長、裁判所長らが馬にまたがって出勤した。二度の火災のあと、大正五年五月、いまの赤レンガの建物が完成。近郷から〃人民〃が弁当持ちで見物にきた。

堂島川に影を落とすルネッサンス風の三階建。詩情豊かなその容姿は、法のきびしさをよそに〃赤レンガ〃の愛称で浪花っ子に親しまれ、よく画題になってきた。だが地上四十㍍の美しい高塔も「法の威厳を示すために、とくにくっつけたんです」と元大阪地裁所長○○弁護士（六九）の話だ。戦前は正面に菊の紋章が輝いて通行人が最敬礼して通ったという。

現在の若松町に移転してきたのは、明治二十三年であるから、大阪裁判所発祥の記念すべき地は、大阪・中之島一丁目になる。これは今の何処かと調べてみると、大阪裁判所から堂島川を隔てたところに大阪市役所があるが、そこが大阪裁判所発祥の地のようである大阪市役所前の植樹帯の中に、正面に「明治天皇聖蹟」南側に「大阪裁判所址」と録した石碑が佇立しているが、それが大阪裁判所発祥の地であることを示す証左である。これは、明治六年一月はじめに、ここに裁判所が設けられ、のち明治天皇が行幸されたからで、同七年四月には懲役場が設けられたこともあり、当時「中之島の牢」とも呼称され、その北寄りには断頭台があったりして、当時のこの辺りは物淋しいところであったようである。

ことの序でに、大阪裁判所が明治六年開庁された時の達を、御参考までに「北区誌」より摘記しておくと、

一裁判所は当分中之島一丁目へ取設、来る十八日より同所に於て事務取扱候事
一毎日午前九時より十二時迄に訴状差出可申事
一原告被告人共差添人附人可罷出事
右之外御布告に相悖の候者ハ、裁判に不及候事

とある。

なお、全国の裁判所庁舎の中で大阪裁判所は、塔を持った稀有なものと言われるが、大阪裁判所に殊更に塔をつけた理由も、前掲の「大阪・いまとむかし」の一節の中に、その解答を見つけることが出来るようである。また、正面の菊の紋章は、終戦後、とりはずされ、今は会計課の金庫の中で、静かに眠っていると伝えられる。

三島由紀夫の「豊饒の海」に登場

閑話休題――。

三島由紀夫が、ドラマティックな自殺を遂げたのは、まだ我々の記憶に新しいが、彼のライフワークであり、絶筆ともなった小説に「豊饒の海」がある。「春の雪」「奔馬」「暁の寺」それに「天人五衰」の四巻からなるが、その第二巻「奔馬」の冒頭は、奇しくもこの〃赤レンガ〃がその舞台となっている。

三島由紀夫は、ここを舞台に描くに際し、厳父の友人の裁判所関係者を動かして、ここを訪ね、裁判所の内外を見学し、且又、判事の生活を詳しく聞いたようである次の一文は、「奔馬」が上梓されたのち、その裁判所関係者が、裁判所に寄贈した同書の巻末に識された添書であるが、三島氏の取材の模様がうかがわれるような気がして、まことに興味深いものがある。

三島由紀夫君（平岡公威君）は私の一高同級の友・平岡梓君の長男です。ある小説を書くのだが、フィックションの主人公が、昭和七年頃、大阪控訴院（筆者注――現大阪高等裁判所）判事だったことにするので、当時の同控訴院の様子が知りたいと、訪ねてきました。それで、そのときの▽▽高裁長官を訪ね、取材せられるよう御紹介したところ、同氏から参考になる昔話を伺ったり、大層便宜を与えられたと喜んで居りました

その小説は「新潮」誌上に「奔馬」と題し、昭和四二年二月号から同四三年八月号まで連載され、その冒頭一～三に当時の大阪控訴院の偲ばれることが出て来ます。最近、それが単行本となりましたので、今の大阪高等裁判所の裁判官諸賢にも、御興味あろうかと存じ、一本を求めお贈り致します。

昭和四四年三月
元大阪高裁長官　○○
大阪高等裁判所　御中

〃赤レンガ〃の愛称で、浪花っ子らに親しまれてきた、ルネッサンス風の裁判所の内外で取材するありし日の三島由紀夫が眼に浮かぶようである。そして、「奔馬」の裁判所に触れたくだりを読むとき程、三島由紀夫を身近に感ずる時はない。と同時に、今更言うまでもないことだが、その描写の的確さに、改めて畏敬の念を強くするのである。

判事にとって、風呂敷につつんだ事件記録は、仕事の生命であり汽車に乗っても、決して網棚にのせないのが心得であること、裁判所帰りに酒をのむときなどは、風呂敷の結び目に紐をとおして、その紐を首にかけておくのが常であることなど、当時の判事の生活のようすが描かれている。

今は、大阪市都島区へ移転したが、裁判所うらにあった、大阪拘置所の描写もよくなされている拘置所の配置状態。処刑の音。（昔はここで処刑が行われている。今この拘置所跡へ、裁判所の新庁舎が工事中であり、近く竣工をみる。）圧巻は、〃赤レンガ〃の高塔内部の描写である。日本の心を謳う浪漫主義――。そのロマンチシズムあふれる筆で、内部のそこかしこが剰すところなく浮彫りにされている。私は、「奔馬」を読み終えた後、ひとりこの高塔内を徘徊し、今は逝き三島氏のあとを辿ったのであるが、有名な作家の眼の鋭さに、改めて襟を正されるような思いに駆られたことであった。高さ四〇㍍の高塔の頂上からは、晴れた日には遠く淡路島が望まれた、との一節があるが、それは、単なる小説家の想像でなく、真実だったのかも知れない。が、今や、大阪の空はスモッグに汚れこのようなことは望むべくもない

なお、この〃赤レンガ〃は、あと数ヵ月を出でずして、永遠に消え去る運命にある。高塔内部のもようは、今後は、ゆくりなくも三島氏の「奔馬」により偲ばれることになった。

さもあればあれ、〃赤レンガ〃は六十年近い歳月を閲（けみ）して、その光輝ある歴史を閉じる。それは、あたかも私ども停年を彷彿させ、微苦笑を禁じ得ないものがある。数年前迄は「大阪名物の一つだから……」と存置を求める郷愁派の声もあったように仄聞しているが、先代や先々代のように火災にも遇わず、無事安泰に、一生を歩み通した〃赤レンガ〃は、以って冥すべし、と言うべきであろう。或はまた、地上四十㍍の高塔から、実に半世紀以上の永きに亘り、四方（よも）の脱望を恣にして来た〃赤レンガ〃は、周囲の一部の名残り惜しむ声をよそに、ひとり蝉跳していくのかも知れない。

ここで新庁舎につき、ちょっと触れてみよう。工事は第一期と第二期とにわかれ、第一期工事は、法廷を主とし、弁護士控室、郵便局、車庫それに厚生施設を包含した、言わば法廷棟と目すべきもの。地下二階、地上十一階（法廷の階層は八―九層）の建物で、すでに完成をみた。第二期工事は、事務棟と言われるもので、裁判官室、書記官室、調停室、それに事務局部門が入る。地下一階、地上十一階で、前記法廷棟の南側に密着して建てられ、今年十月竣工する予定。残余の旧建物を整理して生ずる相当な空地部分は、前庭の緑地その他駐車場などとして利用される。

完成の暁には、大阪高等裁判所大阪地方裁判所、大阪簡易裁判所（交通部を除く）の各事件部と事務局の全てが、裁判所としては全国最大の、しかも近代設備の、一つの庁舎にまとまることになっている。

また、旧庁舎＝〃赤レンガ〃の面影を末長く後世に残すべく、関係者の御努力により、小磯画伯の力作、八十号の立派な〃赤レンガ〃の絵画が最近完成し、現在長官室に飾られている。巷にはミニスカートがあふれているが、新庁舎玄関ロビーには、ミニスカートならぬ〃ミニ赤レンガ〃を制作、展示して、往時をしのぶ話も仄聞している。

本学90周年の記念に高塔のドームを

聞けば、本学は、来る昭和五十年には、創立九〇周年の記念すべき年を迎えるとの趣である。まずは御同慶の至りです。九〇周年にはいろいろな記念事業が、企画実行されると思われるが、関大にはシンボル施設がないとは、全関大関係者の嘆きの声である。画竜点睛を欠いた感がなくもない。学舎の整備も一段落した現在、私は、本学にゆかりの深い、大阪裁判所のあの美しい高塔の、半球のドームを取敢えずゆずり受け、九〇周年記念事業の一環として、時計塔をかね備えた創立記念館をつくりその頂きにあのドームを付け、以後、関大のシンボル塔としたらと愚考するものであるが、どうであろうか。

場所は正門付近がよい。朝な夕な、あの美しいドーム塔をながめる関大生諸君は、本学に学ぶ誇りと喜びをかみ締め、かつ分ち合うにちがいない。もし、実現すれば我々は、大学のシンボル塔としては、永い歴史と伝統を誇る大学に相応しい、全国有数の立派なシンボル塔を持つことになる。また、〃赤レンガ〃を残せという地元大阪の一部の郷愁派の要望にも、不十分ながら応えることにもなろうかてて加えて、これまで知られてきた知名度にも、なかなか捨てがたいものを覚え、本学の宣伝にプラスになることは明らかである。

実現には、当然のことながら、多くの困難が予想されると思われるが、校友諸賢の皆さんはいかがお考えであろうか。

（本稿をまとめるにあたり、文中掲記の書物の他、「大阪高裁広報」「あかれんが」その他を参考にしました。ここに記して深甚なる謝意を表します。――昭41年学二法卒、現在 大阪高等 裁判 所勤務）

現代社会と体育

4

学校の運動競技の社会体育移行と野外活動並びにスポーツリーダー養成への関心

岩野　次郎

文学部教授

■「児童生徒の対外運動競技」は「社会体育」に移行して来た

①「社会体育としての体育スポーツ」と「学校の運動競技」について

日本の「学校体育」は明治五年太政官布告の学制発布当初は現在の「保健、体育」に類することは「養生生体術」として当時の教育科目に入れられたがすぐ体操科に変り、以後明治、大正、昭和の中期まで体操科で通した。保健は、「学校衛生」として採用されていたが昭和二十二年文部省は「学校体育指導要綱」を提示し現在の小学校から大学まで「保健体育」としての正科体育を実施している。

②「スポーツ」という語については学制発布以来昭和二十一年までは「学校体育」教材にもその取扱いの中にもスポーツは出て来ない。このスポーツの代りに「運動競技」という語で表現をして来た

昭和二十二年の学校体育指導要領の「計画と指導」の中に始めて「スポーツのコーチ」とか「遊戯及びスポーツ」とか「スポーツマンシップ」、『女子スポーツでは原則として女子規則を採用する』といった程度に入れて来た。

また昭和四十四年七月三日文部次官通達の「児童生徒の運動競技について」の中に「学校体育のみならず一般社会における「体育スポーツ」をいっそう活発に…」と入れている。

非常に奇異に感ずるくらい学校体育の中には「スポーツ」という語は見当らない。近時急速に伸びた国民一般の「社会体育」を「体育スポーツ」という言葉でまとめて「学校体育」と区別して表現している。

一方、昭和三十六年六月十六日法律第一四一号「スポーツ振興法」の第二条にあるスポーツの定義には「この法律においてスポーツとは運動競技及び身体運動（キャンプ活動その他の野外活動を含む）…」と定義づけてスポーツは運動競技だけではない。キャンプ等の野外活動等もスポーツであるとしている。

学校における教育活動としてのキャンプ等の野外活動等においてもスポーツマンシップやフェアプレーを強調することは当然のことである。

②学校の対外運動競技の基準について

文部省の保健体育審議会は「児童生徒の健全な普及発達の見地」からこの基準を設けたが結果は学校教員の責任逃れの感のする低調さが現われて正に往年の隆盛さが他に転換されようとしている。

1、学校教育活動としての対外運動競技について…には小学校は対外運動競技は行わないことは従前通り何ら変りはないし、中学校は年一回近接都府県の程度としている。高校は地域と全国はそれぞれ年一回程度としていることは何ら変りはない。

2、学校教育活動以外の運動競技について

従来なかったもので校長、教員の責任外のものとして学校教育活動以外の運動競技について…の内容は完全にその参加責任を保護者としている。

そして中学校は中体連、高校は高体連のような学校体育団体とその種目の競技団体、社会教育団体、教育機関と協議して実施要項をつくるとしている。学校は参加責任も運営責任もなくなっている。

競技は中学生でも全国、国際試合に出場出来るし十五歳以上は全国大会三回まで参加出来るのである。

③そのために日本体育協会を中心に「学校教育活動外の運動競技会の基準」が出来て、すべて「青少年運動競技中央連絡協議会」に提出して審議することになった。

これによって従来の中学・高校の対外諸大会に学校教育の立場からの教師の責任において引率、指導監督することが適当でなくなってきた。

そのもう一つは昭和四十七年二月九日 文部省 初中局長 通知は「人事院の定める対外運動競技等」については教育公務員特例法第二十五条の五の規定に基いて公立学校教員職員も適用されることであるというのである。

これは競技会への参加が「学校教育活動」として行われる場合は該当するが参加が社会体育の領域の場合は該当しない、というのである。

④中学・高校の従来の運動部の活動は学校外での諸大会参加に大きな変調を来たし、学校教育の責任から保護者と社会体育関係団体および地方公共団体の行政施策に検討を加える時となった然るに社会体意、一般国民体育スポーツの普及振興の最も必要な現在、社会の青少年としての児童生徒のみ運動競技活動が大きく移行される時が来ているといえる。

■魅力ある自然スポーツとして自然に親しむ野外活動施設の増加時代

①公害都市、過密化都市に居住して気息えんえんたる青少年も、大人も、豊かな太陽と、清らかな空気、水を求めて大自然の美しい山野、河川、海にあこがれるのは当然である。

自然の神秘、幽容な森林、静かな湖水、果てしない海原と白砂、これの中に棲息する動、植物の生態、森羅万象の変化は学校の教室や、職場では求めても得られない偉大なる教訓であり、生きた教科書である。

グループでキャンプ等の集団生活によって健全な愛情と強健な体力を培えるという最も適切な純正体育運動ともいえるのである。

②全国各地にその施設は年々急激に設置されている。

各地のキャンプ場や海水浴場やプール、総合野外活動センター等は超満員となっている。

青少年のサイクリングもバイコロジー運動と共に急速に普及し、その施設も例えば伊豆のサイクリング・スポーツセンター等は広大な地域の自然を生かして設置されている。（J・C・A所管）また大阪にも河内長野の山上に関西サイクリングスポーツセンターの地鎮祭も終わったので近く着工される運びになっている。（関西サイクル連盟主管）また自転車専用道路も大きく伸展して、千葉から表日本海岸をぬって仙台、青森へ。一方、伊勢から和歌山を経て大阪京都から裏日本に抜ける専用道路等の計画で、やがて千葉―和歌山―琵琶湖に連結されるだろうとのことである。市、町、村道路には道路脇に舗道兼サイクリングロードが着々と増設されていて、バイコロジー運動に拍車をかけている。

「註」サイクリング（CYCLING）はスポーツとしてグループで乗って楽しむものであり、時速十㌔から十五㌔位以下で整然とグループ活動をするもの。

バイコロジー（BIKECOLOGY）は自転車通勤、通学、買物、お使いの用に供するものであり、汚染空気公害や、人命危害防止対策としてU・S・Aで現在非常に普及し出したこと、日本でも追々普及している。

④大阪では府は能勢総合キャンプセンターを昭和三十八年に完成し一日千二百人の収容能力を有し、年間約十二万人のキャンパーが利用している。また現在、海洋活動センターを淡輪に建設中で、三百人の宿舎と共に漕艇、ヨット等の練習場や青少年海の家も設計されている。

大阪市は三重の伊賀に青少年総合活動センターを既に着工し、青少年の野外活動として知、情、意一体の社会科、芸能、体育スポーツ、保健衛生等の実践教育の場を実現しようとしている。

その他山に囲まれ、海に面した大阪府は各所に市、町、村の施設があり、府の金剛山自然保護協会の施設として金剛山自然公園山頂の香楠荘の利用者も倍加している。

学校教育活動外の体育スポーツ、レクリエーション活動として保護者、社会団体、行政機関等が一体となって青少年活動の施設や指導に留意して来たことはよろこばしいことである。

⑤自然への野外活動への一つの原因に視力調整もある。最近の小学中・高校生の近視、乱視の激増対策としても自然環境での集団生活実施は莫大な利徳を裏面に期待出来る。最近の児童、生徒の近視、乱視、斜視の数は小学生約30％、中・高生が50％となったといわれている。

⑥近時の社会世相の環境や現状に鑑み上級学校の学生生徒はその居住する社会（コンミュニティー）にもっと接近し、青少年の体育、スポーツ、芸能、文化活動のリーダーまたはヘルパー、カウンセラーとしてグループ活動に参加し、コンミュニティーの人々と親和協力し合うことを期待されていないだろうか。

世間から隔離された上級年次学校の学生生徒の学校生活の在り方に検討を要するとともに既に着々奏効のグループも数多くあり、非常に好感を持たれていることも、薄くなった人情の目立つ世相で温かい人間性が湧出しているのである。

■ギャンブル時代

体意やスポーツの正常な参加の習慣、態度のない人々が、金とひまが出来てくると、ギャンブルが栄えるのは世の常である。

物価の値上りは労働賃金の値上りになり、予想外の収入（臨時収入やボーナス等）は人間を夢中にしてしまってギャンブルに走る。

四十六年度以来競馬、競輪、ボウリング、ゴルフ等による賭け事（GANBLING）の参加は総数一億二十四万人で、日本国民が一人年間一回以上参加していることになるという。

馬券車券の売り上げ高は約二兆億円で、東京都の年間予算に匹敵するそうである。

一方映画が四割減、プロ競技、演劇は一割減だそうである。

スポーツの観客は、甲子園高校野球や外国との、サッカー、バレーボール試合等は相手によって超満員になるが、従来の東京の六大学野球その他は往年の⅓程度であって、人気は他に移動してしまっている。

この原因の一つには一般国民の社会体育の振興普及と技術向上の反面、大学スポーツの伸び悩みや萎縮があり、往年の各大学の体育会の旺盛さは色々の原因によって衰微しつつある現状であるといえる。

このことは学校スポーツ全般にも現われていて、高校、中学の対外運動競技の運営や、また日常の課外における部活動にも種々の問題を宿しているので、今後の発展について検討を要する時代になって来た。

■国民の体育スポーツの権威あるリーダーの養成の心要

(1)人間の尊重と日本の文化的に進展したすべての国民の幸福のための体育スポーツの適切なヘルパーであり、リーダーである指導の実力者を養成するための施策は、文部省も地方公共団体も、民間の体育や教育団体は勿論、各々の種目別団体地域、職域団体において熱心に研修会やトレーニングセンターが開設されていることはよろこばしいが、現在の日本の全国民の体育、スポーツ参加の激増には及ばない。多くの事故、死傷者が出ている現状である。

(2)◇公的機関の体育スポーツ指導普及、管理行政機構を思い切って強化整備すること。

◇各種目、各施設に数多くの公的な指導資格者を配置すること。

◇高校、各大学に国民の体育スポーツの指導力を研修する機構を増設して体育スポーツの専門家ならざる専門家の実力あるリーダーを養成すること。

◇特に、水泳、スキー等のシーズン的に魅力ある種目のリーダーに厳重な指導管理力を身につけさすこと。

◇野外活動のリーダーやカウンセラーや、ファミリー中心のスポーツリーダーを一般市民や保護者のうちから数多く養成すること。

参考までにミュンヘン市のスポーツアカデミーで実施しているテニス、水泳、スキーの教師の国家試験の内容を見て下さい。我が関大にもこんな組織がほしいことを念願して一応結びといたします。

■国家が認定するスポーツ教師

㈠バイエル州立スポルツアカデミー（ミュンヘン市グリューンヴァルト）

①テニス教師のための国家試験
1、満二十才以上
2、二年間に週二日の十週最低期間テニス部の活動しているもの

実技
1、個別打法
フォアハンド、バックハンド、サーヴィス
弾道飛球（Fling bad）
ロビング、スマッシング、ストップ、半ヴォレー半弾道飛球
2、試合
シングルスおよびダブルス

理論
1、筆記試験（三時間）
解剖学および生理学の基礎、体育生物学、テニス教授法、組織づくり、応急処置、法的規定および管理諸規定
2、口述試験
医学上の領域、テニスの方法論
テニスの歴史的発展、組織文学
技術戦術トレーニング、試合の諸ルール、準備、コートの構造および道具の知識

②水泳教師のための国家試験
1、これはテニスの場合に同じ
一、実技試験
1、水泳…国際的に認可されている型の種類による一〇〇㍍、二〇〇㍍とブレスト、クロール、バックを各々五〇㍍泳ぐ。次にスタートとターン。
2、飛込み…十㍍―七・五㍍の飛び込み台で助走をつけて逆跳び五㍍の逆跳び、三㍍で逆跳びとジャックナイフ、一㍍で½ひねり、後方逆跳び等
3、水球及び審判法
4、ドイツ赤十字水難救助員としてもあるいはドイツ人命救助法協会の実務免許状に記載の諸条件を満たしている証明
二、理論（三時間）…筆記試験
1、人体の構造（解剖学の基礎）
2、組織の機能（生理学の基礎）
適性、体操訓練、トレーニング等
3、体育の生理学
4、体育教授法（方法論）
5、体育の組織づくり（体育連盟の構成）
6、事故の際の応急処置
三、口述試験
1、解剖学、生理学、体育生物学、事故の際の応急処置、マッサージ、衛生学
2、教育学
3、教授法
4、歴史的発展
5、組織づくり
6、技術戦術、トレーニング
7、トレーニング施設用具の知識
8、競技ルールと審判規則知識
四、教育実習試験の報告書

③スキー教師のための国家試験
1、2はテニスの場合に同じ

実地試験
回転滑降（二段階）、オープンゲレンデにおける滑降、長距離地形（稜状、屈曲、起伏）の滑降と個々の技術演習（ボーゲンプッルークボーゲン、グルントシュヴング、シュテムシュヴング、パラレルシュヴング、クルツシュブング、ウムシュタイゲシュヴング）

理論試験
1、筆記試験
解剖学及び生理学の基礎、体育の生理学、スキー教授法、機構組織（体育のための諸団体の構成）応急手当て、法令および管理規則
2、口頭試問
スキー走法、スキーの歴史的発展、機構組織、文学、工学、技術トレーニング競技規定、ゲレンデにおける指導、地理学、アルプスの諸危険、雪崩れの知識装備、ワックスの知識

（完）

国際政治の中の革新勢力

関大経済人クラブ第40回例会

関大経済人クラブは、校友経済人の集いとして、産業界のいろいろの立場の人たちと交流を深め、今日的課題を語り合い、企業とともにおたがいの啓発をめざしている。第四十回例会は、七月十四日午後三時半より新大阪ホテルにおいて開催された。

共産党の進出、革新自治体の広がりをどうみるか、多極化時代に入った国際政治のうねりの中で、中ソの関係もきわめて微妙である。わが国の進路を含めて広い視野から考えてみようと、〃国際政治の中の革新勢力〃をテーマにとりあげ、朝日新聞のアメリカ総局長、ヨーロッパ総局長、外報部長を歴任された朝日新聞編集局次長中村　貢氏を特に講師としてお招きした。かねて朝日記者時代同じデスクで親交のある吉田三七雄氏から同氏の紹介の言葉があった後、中村氏は大要次のように話された。

日本共産党は、西欧型思考、脱アジア、自主独往路線を歩み、代々木はアジアの孤児になりつつある。今後の伸びは得票二〇％が限界と思うが、それまでに、日共内部に路線論争と権力闘争が起きることも予想できる。左翼の歴史は分派セクト抗争の歴史であり、血なまぐさい粛正の繰り返しである。現在の宮本路線がいつまでも続くとは考えられない。高度経済成長の日本においては武力暴力革命は成功しない。

米中ソ日の四極構造がアジアを支配するが、現在の国際情勢の特質は、核の抑制力であり、国際政治における非軍事力の機能が大きく、非軍事要因の国際政治に果たす力を見逃がせない。アジアの現状は、非軍事型、四国型政治ゲームの時代である。国民のもつ情報力、経済力の機能を持たねばならない。四国不戦時代到来の姿において、日本の革新政党がなし得る行動力にも限界がある。

以上の如き広い視野からの見解を述べられたが、一同食事をともにし、さらに同氏を中心に、ニクソン政権の米国における位置づけと日米問題等なども語り合った。

新刊　紹介

壺井義正編『（付注影印）漱芳閣書画記』

水田紀久

ひとつの時代を、うわべだけの安易な区分で命名したばかりに、実態にそぐわぬその便宜的名称には、ときにむなしささえ覚えることがある。幕末とか維新とかの呼称も、その例にもれないが、このたび文学部の壺井義正教授が、関西大学東西学術研究所資料集刊八として付注影印された浅野梅堂の「漱芳閣書画記」は、本邦近世末期の文化水準を、あらためて見直させる名著である。

古来、わが国では、海彼よりの文物の渡来に、いくたびかピークがあった。伝来の中心は、もとより各時代の好尚をいろどる書画である。奈良朝の大宮人も鎌倉期の禅僧も、新渡の品々に眩惑し、そして随喜した。江戸末期における文人墨客たちの、中華憧憬にいたっては、まさにこれら先人にまさるともおとらぬ 拝跪ぶりであった。文人 趣味の 浸透とあい まって、人文の典型は一に彼にあったからである。

浅野梅堂は、この時期に浦賀奉行、京・江戸町奉行を歴任した三千五百石取りの旗本であるが、隅田川のほとりに別荘を構え、清人筆で「楽是幽居」と扁した文雅の士で、当時蒐集を競った封侯幕客らも、こぞって収蔵品の鑑定は、梅堂にゆだねたのである。そして本書は、まさしくその愛玩書画典籍器物の、詳細な記録なのである

梅堂には、ほかに鑑識記録「漱芳閣書画銘心録」や随筆「寒檠璅綴」の著があり、いずれも芸林の士の座右の書となっている。ひとりこの「書画記」のみは、「宋元版部」が書誌学的関心から、わずかに抄写流布していたにすぎず、全編の公刊が久しく待ち望まれていたところ、このたびの影印ではじめて全貌が世に知られることになった。同学同好の渇は、十二分にいやされるであろう。

壺井教授は御所蔵底本と国会図書館本を厳密に比較し、懇切な解題と簡明な脚注を付し、巻頭には図版五十四葉を、また巻末には漱芳閣善本略目、各種索引を添えるなど、親切至極な編集ぶりである。本書によって、近世におけるわが中国文化受容の実態が如実にうかがえ、文化交渉史への寄与は、測り知れぬものがあろう。教授風雅の緒余は、いまや東洋文化史研究の一大照明への点火となった。それは、ひとり編者のみのよろこびではないであろう。

（関西大学非常勤講師）

かわちどり

関大生活に潤いを

今般東大当局から東大像が発表された。結論的にいえば「大学は広くて自由だが、人情は競争的で社会で冷たい」さらにこれを分析すると「広くて自由で競争的で、こせこせしていて、空虚で、冷たく、保守的である」となる。これは、名門といわれ、エリート・コースと価値付けられ、立身出世のための学府の権威だったため学業成績の鬼として入学して来た。世にいう秀才校なのだ。しかし、その反面友情も薄いし、型にはまった官僚または支配層型である。願みるに関大の建学精神は人のために社会があり、国があるとの見地より出発しており、すぐ創立九十年に垂んとしている。伝統の〃眼高手低〃実践躬行型で人情の厚いことは東大と対照的だ。また校友会の全国的な活動は旺盛で明日への飛躍は刮目してよい。マンモス化の今日の関大に続けてほしいのは友情の交流でもあり、潤いのある学生生活である。東大生活の味気なさを他山の石として、大いに身心ともすこやかに人格の陶冶に努めてほしい。それには学校当局の真摯な指導と多大な便宜を学生に与えてほしいと思う。かくしてこそ学園は和気靄々として生気溌剌たる研学の場となり、そこには不純な思想と行動を許す余地がなくなるであろうことを確信する。

（昭三専商卒、石瀧栄一）

NIKKA BAR POKKA
●三津寺店―南区三津寺町１０　213-1289
（但し三津寺筋を御堂筋西へ20m）
●心斎橋店―南区心斎橋中２の32　213-0521
●北新地店―北区永楽町１９番地　344-6091～2

鉄骨・橋梁
株式会社　春本鐵工所
取締役社長　春本利雄
本社工場 551　大阪市大正区南恩加島町一―一五一　電話大阪（〇六）五五二―一四六一（大代）
枚方工場 573　枚方市南中振三丁目三番一号　電話（〇七二〇）三一―四三二二
東京営業所 150　東京都渋谷区神南一―二一―六アジアビル四階　電話東京（〇三）四六三―〇三六一（代表）
名古屋営業所 460　名古屋市中区錦二―一七―三〇河越ビル七階　電話（〇五二）二二一―一七〇一

KANEBO
マークされる男のマークIII
for young spirit
ダンデイマークIII
ダンデイマークIII 11種15品300円～900円
●シェービングクリーム〈ブラッシュレス〉300円
●アフターシェーブローション400円
●スキンクリーム400円●スキンミルク500円
●ヘアートニック500円・900円(大)
●ヘアーリクイド〈ソフト〉〈ハード〉各500円・900円(大)
●ヘアークリーム400円●ポマード400円
●コスメチック500円●ヘアースプレー500円
●オードトアレ800円
美しきヒューマンライフをめざす
カネボウ化粧品
この看板のあるカネボウチェーン店・有名百貨店でお買い求めください。

各種プラスチック原料
化学工業薬品全般
各種成型機械
プラスチック製品全般
合成商事株式会社
本社　大阪市東区北浜３丁目41番地　日本文化会館ビル
電話（06）231―9461番（代表）
東京営業所　東京都千代田区飯田橋１丁目７番10号　山京ビル
電話（03）263―6128番（代表）